

2019 年度

授業大要〔シラバス〕

(第 2 学年)

松本歯科大学衛生学院

歯科衛生士学科

<目 次>

建学の理念／教育目標	0 3
校歌	0 4
履修基準表	0 5
年間予定表	0 6
時間割表	0 8
歯科予防処置論Ⅱ	【全】 0 9
歯科保健指導論Ⅱ	【全】 1 5
歯科診療補助論Ⅱ	【全】 2 1
保存修復・歯内療法学	【前】 2 7
歯周療法学	【前】 2 8
歯科補綴学	【前】 3 0
口腔外科学	【前】 3 1
小児歯科学	【前】 3 2
歯科矯正学	【前】 3 5
歯科放射線・歯科麻酔学	【前】 3 6
障害者歯科学	【前】 3 9
高齢者歯科学	【前】 4 0
摂食・嚥下学	【前】 4 1
歯科英語	【前】 4 3
キャリアデザイン	【前】 4 4
衛生行政・社会福祉	【後】 4 7
医療事務（歯科）	【後】 4 8
臨地実習Ⅰ	【後】 5 1
学則、諸規程関係	別冊

建学の理念

佐久間象山 福沢諭吉両先生の学訓に従い

国手的精神に立脚し

教育と研究の有機的結合を強固にして大学の本質を常に究め

近代民主主義の本源的価値観と世界観を確立し

人間の尊厳を認識せしめつつ民主主義的人格を陶冶し

深遠な真理を追求しつつ科学思想昂揚の完璧を期するにある

過去より未来を通じての現代の世界史的位置を認識せしめ

偉大な人類の業績を讃えると共に

未来への方法と科学的展望を確立せしめる

教学一致の不断の研鑽と遠大な理想に基づき

輝ける高雅な環境の醸成につとめ

自治の尊厳を守り

芸術を尊び高度の情操を育成せしめる

創立者

矢崎 泰

教育目標

松本歯科大学衛生学院（以下「本学院」という。）は、歯科衛生士に必要な知識と技術を教授するとともに、豊かな人格を養い、社会に貢献できる有能な人材を育成することを目的とする。本学院は上記の目的に基づき、温かく豊かな人間性と幅広い教養を備え、口腔保健の専門的知識と技術を持って広く人々の健康と幸福に貢献するとともに、地域や国際社会の保健・医療・福祉・健康の課題に柔軟に対応できる感性豊かで創造力をもった総合的な口腔保健の専門医療人を養成することを目指すものである。

あ、渺々の蒼穹に
(松本歯科大学校歌)

詞/矢ヶ崎 康 曲/山本 直純

一、あ、渺々の蒼穹に
いまぞ明け行く 信濃の朝
白雪吼ゆる 気高き雲峰に
理性の耳を 澄まし聞け
夜明けの歌と 国手の歌を
自由の響き いや歓喜あり
いざや探らん 世界の在りかを
いざや究めん 無限の法則を

二、あ、深奥の溪谷に
いまぞ開けん 草野の香り
奈良井の川の いざよう岸に
理性の窓を 開き見よ
砕け迷蒙 さやけき思考
自由の守り わが城にあり
いざや探らん 世界のありかを
いざや究めん 無限の法則を

三、あ、妍麗の紅添えて
いまぞ染め行く 桔梗ヶ原の夕べ
深空に映ゆる 三色の星に
理性の胸を しずめ聞け
歩みの音と 進化の音を
自由の栄光 いや輝けり
いざや探らん 世界のありかを
いざや究めん 無限の法則を

Tempo di Marcia

The musical score is written in G major and 2/4 time, marked 'Tempo di Marcia'. It consists of 12 staves of music. The lyrics are written below the notes. The score includes a key signature of one sharp (F#) and a common time signature (C). The lyrics are in Japanese and match the text on the left page.

校歌の解説

一、 信濃の朝と目覚め、山岳を表象。季節的には肌寒い早春を詠う。「夜明けの歌」というのは、転換期の時代がまさに明けそめていることを指し、それを信濃の朝にからませる。国手とは國を医する手の意。ここでは、あながち医家の精神のみを詠ってはいない。もつと大きなこと、つまり國を正す、國のすべてを是正する意をも含む。渺々とは、はてしなく限りなく広い形容。蒼穹は大空、大青空、天空。山頂の白雪が風のウナリと共に吹雪いている様を「白雪吼ゆる」と詠う。

二、 木曾谷より突如として開けた「平野」（松本平）を表象。従って、木曾谷より発して松本平を成している川を情緒として入れた。季節的には太陽の下に躍動する夏を詠う。さわやかな思考と新しくたくましい思想によつて古い頑迷や、コビリついた既成の觀念を打ちやぶつて比類ない文化を打ちたてようとする精神を鼓舞する。深奥の溪谷は奥深い深山のけわしい谷合いの意。

一、の「聞く」に対するに「行動」であり、朝に對する意である。

三、 美しい信州の秋から初冬に至る間の夕方から夜の美しさを表象。美しい紅葉に染まって行く信州高原と、独特の美しい夕焼けをからませる。新しい時代がギシッ／＼と静かに静かにしのびよる。その音が自分たちの耳に実感として感じとれるような高い教養を身につけることを詠う。そして、それを学友会の三色旗に「冷静に反省」し、響うことを「三色の星」にからませる。妍麗は、容姿が美しくあでやかな意。

一、二、三共に、理性の不滅のタイムツを点しつつ、断乎として自由の道を探り、世界觀を確立して、自然や社会の無限の法則性を飽くまで追求する精神を生き生きと共通させている。

全体として建学の理念を具体的に詠ったものである。

(作詞者)

履修基準表

	教育内容	授業科目	授業形態	履修区分	単位数	時間数	履修年次及び授業時間数		
							1年	2年	3年
基礎分野	科学的思考の基盤 人間と生活	口腔生命科学入門Ⅰ	講義	必修	2	30	30		
		口腔生命科学入門Ⅱ	講義	必修	2	30	30		
		歯科英語	講義	必修	2	30		30	
		医療コミュニケーション	演習	必修	2	30	30		
		言語表現	講義	必修	2	30	30		
小 計					10	150	120	30	0
専門基礎分野	人体(歯・口腔を除く)の構造と機能	人体の構造と機能Ⅰ	講義	必修	2	30	30		
		人体の構造と機能Ⅱ	講義	必修	2	30	30		
	歯・口腔の構造と機能	歯・口腔の構造と機能Ⅰ	講義	必修	4	60	60		
		歯・口腔の構造と機能Ⅱ	講義	必修	2	30	30		
	疾病の成り立ち及び回復過程の促進	病理学・口腔病理学	講義	必修	2	30	30		
		薬理学・歯科薬理学	講義	必修	2	30	30		
		微生物学・口腔微生物学	講義	必修	2	30	30		
	歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み	口腔衛生学Ⅰ	講義	必修	2	30	30		
		口腔衛生学Ⅱ	講義	必修	2	30	30		
衛生学・公衆衛生学		講義	必修	2	30	30			
小 計					24	360	330	30	0
専門分野	歯科衛生士概論	歯科衛生士概論	講義	必修	2	30	30		
	臨床歯科医学	保存修復・歯内療法学	講義	必修	1	30		30	
		歯周療法学	講義	必修	1	30		30	
		歯科補綴学	講義	必修	1	30		30	
		口腔外科学	講義	必修	1	30		30	
		小児歯科学	講義	必修	1	30		30	
		歯科矯正学	講義	必修	1	30		30	
		歯科放射線・歯科麻酔学	講義	必修	1	30		30	
		障害者歯科学	講義	必修	1	30		30	
		高齢者歯科学	講義	必修	1	30		30	
	摂食・嚥下学	演習	必修	1	30		30		
	歯科予防処置論	歯科予防処置論Ⅰ	実習	必修	4	120	120		
		歯科予防処置論Ⅱ	実習	必修	3	90		90	
		歯科予防処置論Ⅲ	実習	必修	2	60			60
	歯科保健指導論	歯科保健指導論Ⅰ	演習	必修	2	60	60		
		歯科保健指導論Ⅱ	演習	必修	3	90		90	
		歯科保健指導論Ⅲ	演習	必修	2	60			60
		栄養学・栄養指導法	講義	必修	2	30	30		
	歯科診療補助論	歯科診療補助論Ⅰ	実習	必修	4	120	120		
		歯科診療補助論Ⅱ	実習	必修	3	90		90	
		歯科診療補助論Ⅲ	実習	必修	2	60			60
	臨地実習 (臨地実習を含む)	臨地実習Ⅰ	実習	必修	10	450		450	
		臨地実習Ⅱ	実習	必修	10	450			450
歯科衛生士特論	歯科衛生士特論	講義	必修	8	240			240	
小 計					67	2250	360	1020	870
選択必修分野		キャリアデザイン	演習	必修	2	30		30	
		医療事務(歯科)	講義	必修	4	70		70	
		健康管理	演習	必修	1	20			20
小 計					7	120	0	100	20
合 計					108	2880	810	1180	890

2019年度 年間予定表

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1月		1水	新天皇即位に伴う祝日	1土		1月		1木		1日	
2火		2木	国民の休日	2日		2火		2金		2月	2学年前期定期試験 (~9/12)
3水		3金	憲法記念日	3月		3水		3土		3火	
4木	入学式	4土	みどりの日	4火		4木		4日		4水	
5金	1~3学年オリエンテーション	5日	こどもの日	5水		5金		5月		5木	
6土		6月	振替休日	6木		6土		6火		6金	
7日		7火	2学年月曜授業	7金		7日		7水		7土	
8月	1学年オリエンテーション ~4/10	8水		8土		8月		8木		8日	
9火		9木	1~3学年合同実習	9日		9火		9金		9月	1学年前期定期試験 (~9/19)
10水		10金	1学年月曜授業	10月		10水		10土		10火	
11木		11土		11火		11木		11日	山の日	11水	
12金		12日		12水		12金		12月	振替休日	12木	
13土	3学年 よい歯を守る相談会	13月		13木		13土		13火		13金	2学年前期追再試験 (~9/27)
14日		14火		14金		14日		14水		14土	
15月		15水		15土		15月	海の日	15木		15日	
16火		16木		16日		16火		16金		16月	敬老の日
17水	交通安全講習会 18:10~	17金		17月		17水		17土		17火	
18木		18土		18火		18木	1学年月曜授業	18日		18水	
19金		19日		19水		19金		19月		19木	
20土	松濤祭	20月		20木		20土		20火	1,2学年夏季休業終了	20金	1学年前期追再試験 (~9/27)
21日		21火		21金		21日		21水		21土	
22月		22水	1学年病院見学	22土		22月	1学年夏季休業 (~8/20)	22木		22日	
23火		23木		23日		23火		23金		23月	秋分の日
24水		24金		24月		24水	2学年夏季休業 (~8/20)	24土		24火	
25木		25土	第1回一日体験入学	25火		25木		25日		25水	
26金		26日		26水		26金		26月		26木	3学年前期定期試験 (~9/27)
27土		27月		27木		27土	第2回一日体験入学	27火	3学年夏季休業終了	27金	
28日		28火		28金		28日		28水		28土	
29月	昭和の日	29水	1学年病院見学	29土		29月	3学年夏季休業 (~8/27)	29木		29日	
30火	国民の休日	30木		30日		30火		30金		30月	2学年登院試験 (~10/7)
		31金				31水		31土			

2019年度 年間予定表

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	火	1	金	1	日	1	水 元日	1	土	1	日 (歯科衛生士国家試験)
2	水	2	土	2	月	2	木	2	日	2	月
3	木	3	日 文化の日	3	火	3	金	3	月	3	火
4	金	4	月 振替休日	4	水	4	土	4	火	4	水
5	土	5	火	5	木	5	日	5	水	5	木
6	日	6	水	6	金	6	月 2,3学年冬季休業終了	6	木 (卒業証書授与式)	6	金
7	月	7	木	7	土	7	火 3学年後期試験Ⅱ(～1/9) 1学年冬季休業終了	7	金	7	土
8	火 2学年臨地実習オリエンテーション(～10/21)	8	金 1学年月曜授業	8	日	8	水	8	土	8	日
9	水 戴帽式	9	土	9	月	9	木	9	日	9	月
10	木	10	日	10	火	10	金	10	月 1学年後期定期試験(～2/21)	10	火 2学年後期定期試験(～3/12)
11	金	11	月	11	水	11	土	11	火 建国記念の日	11	水
12	土	12	火	12	木	12	日	12	水	12	木
13	日	13	水	13	金	13	月 成人の日	13	木	13	金
14	月 体育の日	14	木	14	土	14	火 ファウンダーズデイ	14	金	14	土
15	火	15	金	15	日	15	水	15	土	15	日
16	水	16	土	16	月 3学年後期試験Ⅰ(～12/17)	16	木	16	日	16	月 2学年後期追再試験(～3/18)
17	木 1学年月曜授業	17	日	17	火	17	金 3学年後期追再試験(～1/21)	17	月	17	火
18	金	18	月	18	水	18	土	18	火	18	水
19	土 3学年 よい歯を守る相談会	19	火 3学年小学校実習	19	木	19	日	19	水	19	木
20	日	20	水	20	金	20	月	20	木	20	金 春分の日
21	月	21	木	21	土	21	火	21	金	21	土
22	火 即位礼正殿の儀	22	金 3学年企業見学	22	日	22	水	22	土	22	日
23	水 3学年小学校実習	23	土 勤労感謝の日	23	月 冬季休業 1学年(～1/7) 2、3学年(～1/6)	23	木	23	日 天皇誕生日	23	月
24	木	24	日	24	火	24	金	24	月 振り替え休日	24	火
25	金	25	月	25	水	25	土	25	火 1学年後期追再試験補習(～3/6)	25	水
26	土	26	火	26	木	26	日	26	水	26	木
27	日	27	水	27	金	27	月	27	木	27	金
28	月	28	木	28	土	28	火	28	金	28	土
29	火	29	金	29	日	29	水 創立記念日	29	土	29	日
30	水	30	土	30	月	30	木			30	月
31	木			31	火	31	金			31	火

科目名		担当教員名			
歯科予防処置論Ⅱ		竹岡亜紀、島田陽子、三村杏奈、高山きよ江			
学年	学期	単位数(時間数)			
第2学年	前・後期	3単位(90時間)			
授業の目的(GIO)					
口腔保健管理に必要な基礎知識・技術をもとに、患者個人の口腔に応じた口腔ケアのプランニングから実践までの技法を習得する。					
教科書		最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版) 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験の結果および実習記録等の提出状況と内容を評価する。出席状況と授業態度も評価に加味する。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/12	フッ化物塗布 相互実習3	フッ化物塗布③ (フルオールゼリー®)	1)実習の手順を理解できる。 2)使用器材を準備できる。 3)全顎のフッ化物塗布を実施できる。 4)塗布後の注意事項を患者に分かりやすく説明できる。 5)患者の安全への配慮ができる。 6)処置の後片付けができる。 7)実習記録を作成できる。	竹岡
2		フッ化物塗布 相互実習4	フッ化物塗布④ (フルオールゼリー®)	1)実習の手順を理解できる。 2)使用器材を準備できる。 3)全顎のフッ化物塗布を実施できる。 4)塗布後の注意事項を患者に分かりやすく説明できる。 5)患者の安全への配慮ができる。 6)処置の後片付けができる。 7)実習記録を作成できる。	竹岡
3	4/19	口腔内診査・PCR 相互実習3	1. 口腔内診査③ ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う蝕 ・修復物・補綴物 2. 染色・PCR 診査③	1)実習の手順を理解できる。 2)使用器材を準備できる。 3)診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4)歯垢染色を実施できる。 5)PCRの染色部位を判断できる。 6)PCRを記入できる。 7)患者の安全への配慮ができる。 8)処置の後片付けができる。 9)実習記録を作成できる。	竹岡
4		口腔内診査・PCR 相互実習4	1. 口腔内診査④ ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う蝕 ・修復物・補綴物 2. 染色・PCR 診査④	1)実習の手順を理解できる。 2)使用器材を準備できる。 3)診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4)歯垢染色を実施できる。 5)PCRの染色部位を判断できる。 6)PCRを記入できる。 7)患者の安全への配慮ができる。 8)処置の後片付けができる。 9)実習記録を作成できる。	竹岡

5	4/26	口腔内診査・PCR 相互実習7	1. 口腔内診査⑦ ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う蝕 ・修復物・補綴物 2. 染色・PCR 診査⑦	1) 実習の手順を理解できる。 2) 使用器材を準備できる。 3) 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4) 歯垢染色を実施できる。 5) PCR の染色部位を判断できる。 6) PCR を記入できる。 7) 患者の安全への配慮ができる。 8) 処置の後片付けができる。 9) 実習記録を作成できる。	竹岡
6		口腔内診査・PCR 相互実習8	1. 口腔内診査⑧ ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う蝕 ・修復物・補綴物 2. 染色・PCR 診査⑧	1) 実習の手順を理解できる。 2) 使用器材を準備できる。 3) 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4) 歯垢染色を実施できる。 5) PCR の染色部位を判断できる。 6) PCR を記入できる。 7) 患者の安全への配慮ができる。 8) 処置の後片付けができる。 9) 実習記録を作成できる。	竹岡
7	5/10	プロービング 相互実習3	プロービング③(6点法)	1) 実習の手順を理解できる。 2) 使用器材を準備できる。 3) 全顎のプロービングを実施できる。 4) プロービング値を正しく記録できる。 5) 患者の安全への配慮ができる。 6) 処置の後片付けができる。 7) 実習記録を作成できる。	竹岡
8		プロービング 相互実習4	プロービング④(6点法)	1) 実習の手順を理解できる。 2) 使用器材を準備できる。 3) 全顎のプロービングを実施できる。 4) プロービング値を正しく記録できる。 5) 患者の安全への配慮ができる。 6) 処置の後片付けができる。 7) 実習記録を作成できる。	竹岡
9	5/17	ブラッシング指導 相互実習3	ブラッシング指導③	1) 実習の手順を理解できる。 2) 使用器材を準備できる。 3) 適切な指導部位・指導法を判断できる。 4) 口腔清掃法を分かりやすく説明できる。 5) 指導媒体を適切に使用できる。 6) 後片付けができる。 7) 実習記録を作成できる。	竹岡
10		ブラッシング指導 相互実習4	ブラッシング指導④	1) 実習の手順を理解できる。 2) 使用器材を準備できる。 3) 適切な指導部位・指導法を判断できる。 4) 口腔清掃法を分かりやすく説明できる。 5) 指導媒体を適切に使用できる。 6) 後片付けができる。 7) 実習記録を作成できる。	竹岡

11	5/24	PMTC 相互実習3	PMTC①	1) PMTC の定義を説明できる。 2) 実習の手順を理解できる。 3) 使用器材を準備できる。 4) 全額の PMTC を実施できる。 5) 患者の安全への配慮ができる。 6) 処置の後片付けができる。 7) 実習記録を作成できる。	竹岡
12		PMTC 相互実習4			
13	5/31	PMTC 相互実習7	PMTC②	1) PMTC の定義を説明できる。 2) 実習の手順を理解できる。 3) 使用器材を準備できる。 4) 全額の PMTC を実施できる。 5) 患者の安全への配慮ができる。 6) 処置の後片付けができる。 7) 実習記録を作成できる。	竹岡
14		PMTC 相互実習8			
15	6/7	PMTC 相互実習 11	PMTC③	1) PMTC の定義を説明できる。 2) 実習の手順を理解できる。 3) 使用器材を準備できる。 4) 全額の PMTC を実施できる。 5) 患者の安全への配慮ができる。 6) 処置の後片付けができる。 7) 実習記録を作成できる。	竹岡
16		PMTC 相互実習 12			
17	6/14	スケーリング (下顎) 相互実習3	下顎スケーリング①	1) 実習の手順を理解できる。 2) 使用器材を準備できる。 3) 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4) 下顎のスケーリングを実施できる。 5) 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6) 患者の安全への配慮ができる。 7) 処置の後片付けができる。 8) 実習記録を作成できる。	竹岡
18		スケーリング (下顎) 相互実習4			
19	6/21	スケーリング (下顎) 相互実習7	下顎スケーリング②	1) 実習の手順を理解できる。 2) 使用器材を準備できる。 3) 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4) 下顎のスケーリングを実施できる。 5) 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6) 患者の安全への配慮ができる。 7) 処置の後片付けができる。 8) 実習記録を作成できる。	竹岡
20		スケーリング (下顎) 相互実習8			
21	6/28	スケーリング (下顎) 相互実習11	下顎スケーリング③	1) 実習の手順を理解できる。 2) 使用器材を準備できる。 3) 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4) 下顎のスケーリングを実施できる。 5) 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6) 患者の安全への配慮ができる。 7) 処置の後片付けができる。 8) 実習記録を作成できる。	竹岡
22		スケーリング (下顎) 相互実習12			

23	7/5	スケーリング (上顎) 相互実習3	1. 上顎スケーリング① 2. 歯面研磨①	1) 実習の手順を理解できる。 2) 使用器材を準備できる。 3) 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4) 上顎のスケーリングを実施できる。 5) 上顎の歯面清掃・研磨を実施できる。 6) 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 7) 患者の安全への配慮ができる。 8) 処置の後片付けができる。 9) 実習記録を作成できる。	竹岡
24		スケーリング (上顎) 相互実習4			
25	7/12	スケーリング (上顎) 相互実習7	1. 上顎スケーリング② 2. 歯面研磨②	1) 実習の手順を理解できる。 2) 使用器材を準備できる。 3) 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4) 上顎のスケーリングを実施できる。 5) 上顎の歯面清掃・研磨を実施できる。 6) 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 7) 患者の安全への配慮ができる。 8) 処置の後片付けができる。 9) 実習記録を作成できる。	竹岡
26		スケーリング (上顎) 相互実習8			
27	7/19	スケーリング (上顎) 相互実習11	1. 上顎スケーリング③ 2. 歯面研磨③	1) 実習の手順を理解できる。 2) 使用器材を準備できる。 3) 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4) 上顎のスケーリングを実施できる。 5) 上顎の歯面清掃・研磨を実施できる。 6) 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 7) 患者の安全への配慮ができる。 8) 処置の後片付けができる。 9) 実習記録を作成できる。	竹岡
28		スケーリング (上顎) 相互実習12			
29	8/23	超音波スケーラー 相互実習3	超音波スケーリング②	1) 超音波スケーラーの構成・特徴を説明できる。 2) 実習の手順を理解できる。 3) 使用器材を準備できる。 4) 全顎の超音波スケーリングを実施できる。 5) 部位に適したバキューム操作ができる。 6) 患者の安全への配慮ができる。 7) 処置の後片付けができる。 8) 実習記録を作成できる。	竹岡
30		超音波スケーラー 相互実習4			
31	8/30	相互実習総括	総括及び復習	1) 相互実習を振り返り自分自身の課題を明確にできる。 2) 課題の解決策を考察できる。	竹岡
32		1・2			

33	11/29	フッ化物塗布実習 (臨地実習リハーサル)	歯ブラシ塗布法	1)実習の手順を理解できる。 2)使用器材を準備できる。 3)全顎のフッ化物塗布を実施できる。 4)塗布後の注意事項を患者に説明できる。 5)患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6)患者の安全への配慮ができる。 7)処置の後片付けができる。	竹岡
34	12/13	シャープニング1	1. 目的・必要性 2. 研磨用器具・器械の種類 3. 手用研磨器具	1)シャープニングの目的と必要性を説明できる。 2)研磨用器具・器械を列挙できる。 3)手用研磨に必要な器具を列挙できる。	竹岡
35	12/20	シャープニング2	1. ストーンの種類・特徴 2. 研磨の原則 3. 研磨の手順	1)ストーンの種類と特徴を説明できる。 2)操作の原則を説明できる。	竹岡
36	1/10	シャープニング3	研磨実習① (ダル#13/14)	1)刃部の形態的特徴を説明できる。 2)シャープニングの準備ができる。 3)シャープニングを実施できる。 4)後片付けができる(ストーンの保管含む)。	竹岡
37	1/10	シャープニング4	研磨実習② (ダル#13/14)	1)刃部の形態的特徴を説明できる。 2)シャープニングの準備ができる。 3)シャープニングを実施できる。 4)後片付けができる(ストーンの保管含む)。	竹岡
38	1/17	鋭匙型スケーラー マネキン (ロングネック)	スケーリング実習① (部位指定) ミニファイブの操作法	1)マネキン実習の準備ができる。 2)部位に適したポジションを設定できる。 3)部位に適した運動を判断してスケーラーを操作できる。 4)適切なミラー操作ができる。 5)取り残しの確認ができる。	竹岡
39	1/24	鎌・鋭匙型 スケーラー マネキン(復習)	スケーリング実習② (全顎より部位を選択)	1)マネキン実習の準備ができる。 2)部位に適したポジションを設定できる。 3)部位に適した運動を判断してスケーラーを操作できる。 4)適切なミラー操作ができる。 5)取り残しの確認ができる。	竹岡
40	1/31	う蝕予防処置法5	1. う蝕予防処置復習 2. フッ化物味の比較 3. 綿球数の確認 4. FS 模型実習	1)フッ化物の安全性を説明できる。 2)フッ化物製剤の味の違いを説明できる。 3)模型上でFSを実施できる。	竹岡
41	2/7	フッ化物応用法	1. イオン導入に用いるフッ化物 製剤 2. イオン導入器による実習	1)使用製剤を説明できる。 2)イオン導入の手順を説明できる。 3)イオン導入の準備をして実施できる。	竹岡
42	2/12	手用スケーラー 相互実習(復習)1	スケーリング①	1)実習の手順を理解できる。 2)使用器材を準備できる。 3)部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4)指定部位のスケーリングを実施できる。 5)患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6)患者の安全への配慮ができる。 7)処置の後片付けができる。 8)実習記録を作成できる。	竹岡

43	2/19	手用スケーラー 相互実習(復習)2	スケーリング②	<ul style="list-style-type: none"> 1) 実習の手順を理解できる。 2) 使用器材を準備できる。 3) 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4) 指定部位のスケーリングを実施できる。 5) 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6) 患者の安全への配慮ができる。 7) 処置の後片付けができる。 8) 実習記録を作成できる。 	竹岡
44	2/21	手用スケーラー 相互実習(復習)3	スケーリング③	<ul style="list-style-type: none"> 1) 実習の手順を理解できる。 2) 使用器材を準備できる。 3) 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4) 指定部位のスケーリングを実施できる。 5) 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6) 患者の安全への配慮ができる。 7) 処置の後片付けができる。 8) 実習記録を作成できる。 	竹岡
45	2/26	PTC 相互実習 (復習)1	PTC①	<ul style="list-style-type: none"> 1) 実習の手順を理解できる。 2) 使用器材を準備できる。 3) 全顎の歯面清掃・研磨を実施できる。 4) 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5) 患者の安全への配慮ができる。 6) 処置の後片付けができる。 7) 実習記録を作成できる。 	竹岡
46	2/28	PTC 相互実習 (復習)2	PTC②	<ul style="list-style-type: none"> 1) 実習の手順を理解できる。 2) 使用器材を準備できる。 3) 全顎の歯面清掃・研磨を実施できる。 4) 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5) 患者の安全への配慮ができる。 6) 処置の後片付けができる。 7) 実習記録を作成できる。 	竹岡
47	3/6	PTC 相互実習 (復習)3	PTC③	<ul style="list-style-type: none"> 1) 実習の手順を理解できる。 2) 使用器材を準備できる。 3) 全顎の歯面清掃・研磨を実施できる。 4) 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 5) 患者の安全への配慮ができる。 6) 処置の後片付けができる。 7) 実習記録を作成できる。 	竹岡

科目名		担当教員名			
歯科保健指導論Ⅱ		島田陽子、三村杏奈、 竹岡亜紀、高山きよ江			
学 年	学 期	単位数(時間数)			
第2学年	前・後期	3単位(108時間)			
授業の目的(GIO)					
口腔保健の基礎知識を基に、ライフステージごとの歯科の特徴、生活習慣、全身との関連を理解し、患者個人の口腔に応じた口腔ケアのプランニングから実践までの技法を習得する。					
教科書	最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論(医歯薬出版) 最新歯科衛生士教本 歯周病学第2版(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験の結果および実習実技、実習記録等の提出状況と内容を評価する。出席状況と授業態度も評価に加味する。				
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/11	業務記録1	歯科衛生士業務記録	1. 業務記録の目的と意義を述べることができる。 2. 業務記録の種類と形式を述べることができる。 3. 記入上の注意点を述べることができる。	島田
2	4/12	フッ化物塗布 相互実習1	フッ化物塗布① (フルオールゼリー®)	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のフッ化物塗布を実施できる。 4. 塗布後の注意事項を患者に分かりやすく説明できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
3		フッ化物塗布 相互実習2	フッ化物塗布② (フルオールゼリー®)	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のフッ化物塗布を実施できる。 4. 塗布後の注意事項を患者に分かりやすく説明できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。	三村
4	4/18	業務記録2	1. POS 2. SOAP記録	1. 問題志向型システムを説明できる。 2. SOAP形式、SOAPIE形式を説明できる。 3. SOAP形式、SOAPIE形式で業務記録を作成できる。	島田
5	4/19	口腔内診査・PCR 相互実習1	1. 口腔内診査① ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う蝕 ・修復物・補綴物 2. 染色・PCR診査①	1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. PCRの染色部位を判断できる。 6. PCRを記入できる。 7. 患者の安全への配慮ができる。 8. 処置の後片付けができる。 9. 実習記録を作成できる。	三村

6	4/19	口腔内診査・PCR 相互実習2	<ol style="list-style-type: none"> 口腔内診査② <ul style="list-style-type: none"> ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う蝕 ・修復物・補綴物 染色・PCR 診査② 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. PCR の染色部位を判断できる。 6. PCR を記入できる。 7. 患者の安全への配慮ができる。 8. 処置の後片付けができる。 9. 実習記録を作成できる。 	三村
7	4/26	口腔内診査・PCR 相互実習5	<ol style="list-style-type: none"> 口腔内診査⑤ <ul style="list-style-type: none"> ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う蝕 ・修復物・補綴物 染色・PCR 診査⑤ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. PCR の染色部位を判断できる。 6. PCR を記入できる。 7. 患者の安全への配慮ができる。 8. 処置の後片付けができる。 9. 実習記録を作成できる。 	三村
8		口腔内診査・PCR 相互実習6	<ol style="list-style-type: none"> 口腔内診査⑥ <ul style="list-style-type: none"> ・歯列不正 ・歯肉・粘膜の性状 ・沈着物・付着物 ・う蝕 ・修復物・補綴物 染色・PCR 診査⑥ 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 診査を実施して口腔内の状態を把握できる。 4. 歯垢染色を実施できる。 5. PCR の染色部位を判断できる。 6. PCR を記入できる。 7. 患者の安全への配慮ができる。 8. 処置の後片付けができる。 9. 実習記録を作成できる。 	三村
9 10 11 12		5/9	合同実習	ブラッシング指導合同実習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 1年生・3年生とコミュニケーションをはかることができる。 2. 患者と術者を気遣ったアシスタントを工夫できる。 3. 実習を振り返り、自分の課題を明確化できる。 4. 実習を振り返り、疑問点を3年生に質問できる。 5. 実習記録を作成できる。
13	5/10	プロービング 相互実習1	プロービング①(6点法)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のプロービングを実施できる。 4. プロービング値を正しく記録できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。 	三村
14		プロービング 相互実習2	プロービング②(6点法)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 全顎のプロービングを実施できる。 4. プロービング値を正しく記録できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。 	三村

15	5/17	ブラッシング指導 相互実習1	ブラッシング指導①	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 適切な指導部位・指導法を判断できる。 4. 口腔清掃法を分かりやすく説明できる。 5. 指導媒体を適切に使用できる。 6. 後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。 	三村
16		ブラッシング指導 相互実習2	ブラッシング指導②	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 適切な指導部位・指導法を判断できる。 4. 口腔清掃法を分かりやすく説明できる。 5. 指導媒体を適切に使用できる。 6. 後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。 	三村
17	5/24	PMTC相互実習1	PMTC①	<ol style="list-style-type: none"> 1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。 	三村
18		PMTC相互実習2			
19	5/31	PMTC相互実習5	PMTC②	<ol style="list-style-type: none"> 1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。 	三村
20		PMTC相互実習6			
21	6/7	PMTC相互実習9	PMTC③	<ol style="list-style-type: none"> 1. PMTC の定義を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の PMTC を実施できる。 5. 患者の安全への配慮ができる。 6. 処置の後片付けができる。 7. 実習記録を作成できる。 	三村
22		PMTC相互実習10			
23	6/14	スケーリング (下顎) 相互実習1	下顎スケーリング①	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 下顎のスケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。 	三村
24		スケーリング (下顎) 相互実習2			

25	6/21	スケーリング (下顎) 相互実習5	下顎スケーリング②	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 下顎のスケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。 	三村
26		スケーリング (下顎) 相互実習6			
27	6/28	スケーリング (下顎) 相互実習9	下顎スケーリング③	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 下顎のスケーリングを実施できる。 5. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。 	三村
28		スケーリング (下顎) 相互実習10			
29	7/5	スケーリング (上顎) 相互実習1	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上顎スケーリング① 2. 歯面研磨① 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 上顎のスケーリングを実施できる。 5. 上顎の歯面清掃・研磨を実施できる。 6. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 7. 患者の安全への配慮ができる。 8. 処置の後片付けができる。 9. 実習記録を作成できる。 	三村
30		スケーリング (上顎) 相互実習2			
31	7/12	スケーリング (上顎) 相互実習5	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上顎スケーリング② 2. 歯面研磨② 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 上顎のスケーリングを実施できる。 5. 上顎の歯面清掃・研磨を実施できる。 6. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 7. 患者の安全への配慮ができる。 8. 処置の後片付けができる。 9. 実習記録を作成できる。 	三村
32		スケーリング (上顎) 相互実習6			

33	7/19	スケーリング (上顎) 相互実習9	1. 上顎スケーリング③ 2. 歯面研磨③	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の手順を理解できる。 2. 使用器材を準備できる。 3. 部位と歯石の状態に適したスケーラーを選択できる。 4. 上顎のスケーリングを実施できる。 5. 上顎の歯面清掃・研磨を実施できる。 6. 患者とのコミュニケーションを工夫できる。 7. 患者の安全への配慮ができる。 8. 処置の後片付けができる。 9. 実習記録を作成できる。 	三村
34		スケーリング (上顎) 相互実習10			
35	8/23	超音波スケーラー 相互実習1	超音波スケーリング①	<ol style="list-style-type: none"> 1. 超音波スケーラーの構成・特徴を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の超音波スケーリングを実施できる。 5. 部位に適したバキューム操作ができる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。 	三村
36		超音波スケーラー 相互実習2			
37	8/28	電動歯ブラシ	ソニックアー® (株式会社 モリタ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予防製品の特徴を説明できる。 2. 電動歯ブラシの種類を列挙できる。 3. ソニックアーの特徴を概説できる。 4. 商品の使用法を理解して、ブラッシングすることができる。 	モリタ 歯科 衛生士
38					
39	8/30	超音波スケーラー 相互実習5	超音波スケーリング③	<ol style="list-style-type: none"> 1. 超音波スケーラーの構成・特徴を説明できる。 2. 実習の手順を理解できる。 3. 使用器材を準備できる。 4. 全顎の超音波スケーリングを実施する。 5. 部位に適したバキューム操作ができる。 6. 患者の安全への配慮ができる。 7. 処置の後片付けができる。 8. 実習記録を作成できる。 	三村
40		超音波スケーラー 相互実習6			

41	10/25	ライフステージにおける歯科衛生介入	妊産婦期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一般的特徴を述べることができる。 2. 口腔の特徴を説明できる。 3. 望ましい保健行動を説明できる。 4. プロフェッショナルケアの目標を説明できる。 5. セルフケアの目標を説明できる。 6. 食生活の特徴と栄養を述べることができる。 7. 食生活指導を説明できる。 	島田
42	11/1		新生児期・乳児期		
43	11/8		幼児期		
44	11/15		学齢期		
45	11/29		青年期		
46	12/6		成人期		
47	12/13		老年期		
48	12/20		要介護高齢者		
49	1/10		障害者		
50	1/17	禁煙支援 1	喫煙と歯周病・全身との関連	<ol style="list-style-type: none"> 1. 喫煙が及ぼす影響を概説できる。 2. 喫煙と全身の関連性を概説できる。 3. 喫煙に関連する口腔疾患を説明できる。 4. 喫煙と歯周病の関連性を説明できる。 	三村
51	1/24	禁煙支援2	喫煙者に対する指導	<ol style="list-style-type: none"> 1. 喫煙者に対するアセスメントの方法を説明できる。 2. 禁煙ステージの特徴と指導ポイントを説明できる。 	三村
52	1/31	症例検討1	口腔内写真を読みとる① グループワーク	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔内写真から正常・異常を判断できる。 2. 口腔内写真から所見を具体的に述べることができる。 3. 所見から問題点を抽出できる。 4. 問題に対する解決法を検討できる。 	島田
53	2/7	症例検討2	口腔内写真を読みとる② グループワーク		三村
54	2/14	接遇対応1・2	接遇の基礎・理念 接遇対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 接遇の意味を説明できる。 2. 立ち居振舞いに留意して行動できる。 3. 正しい敬語で話すことができる。 4. 適切な言葉遣いで話すことができる。 5. 電話対応の特性を説明できる。 6. 席次を判断できる。 	島田

科目名		担当教員名			
歯科診療補助論Ⅱ		高山きよ江、三村杏奈、島田陽子、竹岡亜紀、黒岩昭弘、横井由紀子、永井早苗、中西正人			
学年	学期	単位数(時間数)			
第2学年	前・後期	3単位(90時間)			
授業の目的(GIO)					
<p>歯科診療に関心を持ち、各項目に対する知識・技術を習得する。また、チーム医療における共同動作の意義を理解し、知識・技術についても習得する。</p> <p>全身的疾病を理解したうえで対象年齢に応じた患者への接し方を学ぶ。</p>					
教科書		<p>最新歯科衛生士教本： 「歯科診療補助論 第2版」、「歯科材料」、「歯科機器」(医歯薬出版) チェアサイドのアシスタントワーク (医歯薬出版) 臨床検査(医歯薬出版) [中西] 歯科衛生士のための看護学大意第3版(医歯薬出版) [永井]</p>			
成績評価		期末試験、授業態度、提出ノート、小テスト、出欠状況などから総合的に評価する。			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/8	ワックス	<ol style="list-style-type: none"> 基礎知識 ワックスの種類、用途 グループ毎の確認テスト 	<ol style="list-style-type: none"> 特徴、利点、欠点を説明できる。 ワックスの種類、用途を説明できる。 グループで協力し、ワックスの種類、用途を説明できる。 	高山
2	4/11	合着材・接着材	<ol style="list-style-type: none"> 基礎知識 種類と用途 所要性質 余剰セメントの除去 	<ol style="list-style-type: none"> 合着材・接着材の意義を理解できる。 種類、用途を説明できる。 所要性質を説明できる。 余剰セメントの除去の方法、注意事項を説明できる。 	高山
3	4/15	リン酸亜鉛セメント1	<ol style="list-style-type: none"> リン酸亜鉛セメントの取扱い <ol style="list-style-type: none"> 成分 特徴 取り扱い 実習① 	<ol style="list-style-type: none"> 成分、特徴、用途、稠度、硬化時間を説明できる。 ガラス練板の使用目的を説明できる。 粉末の分割方法を説明できる。 練和に必要な器材を列挙できる。 取扱い方法を説明できる。 練和操作ができる。 	高山
4	4/18	リン酸亜鉛セメント2	実習②	<ol style="list-style-type: none"> 適切な稠度で練和できる。 ガラス練板を適切に取り扱うことができる。 	高山
5	4/22	ポリカルボキシレートセメント	<ol style="list-style-type: none"> ポリカルボキシレートセメントの取扱い <ol style="list-style-type: none"> 成分 特徴 取り扱い 実習 	<ol style="list-style-type: none"> 成分、特徴、用途、稠度、硬化時間を説明できる。 練和に必要な器材を列挙できる。 取扱い方法を説明できる。 適切な粉液比で練和できる。 	高山

6	4/25	従来型ガラスアイオノマーセメント	<ol style="list-style-type: none"> 従来型ガラスアイオノマーセメントの取り扱い <ol style="list-style-type: none"> 成分 特徴 取り扱い 実習① 	<ol style="list-style-type: none"> 成分、特徴、用途、稠度、硬化時間を説明できる。 練和に必要な器材を列挙できる。 取扱い方法を説明できる。 適切な粉液比で練和できる。 	高山
		レジン添加型ガラスアイオノマーセメント	<ol style="list-style-type: none"> レジン添加型ガラスアイオノマーセメントの取り扱い <ol style="list-style-type: none"> 成分 特徴 取り扱い 実習② 	<ol style="list-style-type: none"> 種類、成分、特徴、用途、硬化時間、取扱い方法を説明できる。 従来型ガラスアイオノマーセメントとレジン添加型ガラスアイオノマーセメントの違いを説明できる。 適切な粉液比で練和できる。 	
7	5/7	接着性レジンセメント	<p>接着性レジンセメントの取り扱い</p> <ol style="list-style-type: none"> 特徴 種類 <ol style="list-style-type: none"> ①MMA系 ②コンポジット系 操作手順 応用例 	<ol style="list-style-type: none"> 成分、特徴、用途、硬化時間、取扱い方法を説明できる。 MMA系接着レジンセメントとコンポジット系接着レジンセメントの違いを説明できる。 	高山
8	5/13	暫間被覆冠・仮着材	<ol style="list-style-type: none"> 暫間被覆冠 <ol style="list-style-type: none"> 目的、種類 暫間被覆冠の取り扱い プロビジョナルレストレーションとの違い 	<ol style="list-style-type: none"> 暫間被覆冠の目的を説明できる。 暫間被覆冠の種類を説明できる。 暫間被覆冠の作製に必要な器材を列挙できる。 暫間被覆冠の作製方法を説明できる。 プロビジョナルレストレーションとの違いを説明できる。 	高山
			<ol style="list-style-type: none"> 仮着材 目的、種類 取扱い方法 セメント泥の盛り付け方 	<ol style="list-style-type: none"> 仮着材の目的、種類を説明できる。 練和に必要な器材を列挙できる。 取扱い方法を説明できる。 セメント泥の盛り付け方を説明できる。 	
			<ol style="list-style-type: none"> 実習 既製冠へのセメント泥の盛り付け 	<ol style="list-style-type: none"> 適切な量で練和できる。 盛り付け操作ができる。 	
9	5/16	仮封材1	<ol style="list-style-type: none"> 仮封と暫間充填の違い 目的、所要性質 仮封材の種類と仮封法 各種材料の取扱い方法 	<ol style="list-style-type: none"> 仮封と暫間充填の違いを説明できる。 目的、性質、種類、仮封法を説明できる。 取扱い方法を説明できる。 	高山
10	5/20	仮封材2	<ol style="list-style-type: none"> 実習 <ol style="list-style-type: none"> テンポラリーストップング 仮封用軟質レジン(筆積み法) 水硬性仮封材 	<ol style="list-style-type: none"> 顎模型上で各種仮封材を正しく取扱うことができる。 フォーハンドでの仮封操作ができる。 フォーハンドでの仮封操作の介助ができる。 	高山
11	5/23	酸化亜鉛ユーージノールセメント1	<ol style="list-style-type: none"> 成分、用途 特徴(利点・欠点) 取扱い方法 実習① 	<ol style="list-style-type: none"> 成分、特徴、用途、稠度、硬化時間を説明できる。 練和に必要な器材を列挙できる。 取扱い方法を説明できる。 練和操作ができる。 	高山

12	5/27	酸化亜鉛ユー ジノールセメント2	実習② 1)酸化亜鉛ユー ジノールセメ ント	1. 適切な稠度で練和できる。 2. 課題を挙げ改善できる。	高山
13	5/30	裏層用セメント	1. ライニングとベースの違い 2. 種類、取扱い方法 3. ライニング用、ベース用 4. 実習 1) グラスアイオノマーセメント 2) リン酸亜鉛セメント	1. ライニングとベースの違いを説明できる。 2. 練和に必要な器材を列挙できる。 3. 取扱い方法を説明できる。 4. 用途による稠度の違いを説明できる。 5. 適切な稠度で練和できる。	高山
14	6/3	根管充填用 セメント	1. 根管充填用セメントの目的、 種類、取り扱い方法 2. 実習 酸化亜鉛ユー ジノールセメント	1. 根管充填用セメントの目的、用途、種 類、取扱い方法を説明できる。 2. 練和できる。	高山
15	6/6	歯周パック材	1. 目的、種類 2. 取扱い方法 3. 貼付方法 4. 除去方法 5. 患者指導 6. 実習 1) 非ユー ジノール系の練和 2) 口腔内貼付 3) 患者指導	1. 歯周パックの目的、種類を説明でき る。 2. 練和に必要な器材を列挙できる。 3. 取扱い方法を説明できる。 4. 貼付方法を説明できる。 5. 除去方法を説明できる。 6. 非ユー ジノール系の歯周パック材の 練和と貼付ができる。 7. 患者の気持ちを体感できる。 8. 患者指導ができる。	高山
16	6/10	義歯床用裏装材	1. リラインとリベース 2. 裏装材 3. 粘膜調整材 4. 適合試験材 5. 実習	1. リラインとリベースの違いを説明 できる。 2. 裏装材の取り扱い方法を説明できる。 3. 粘膜調整の目的を説明できる。 4. 粘膜調整材の取扱い方法を説明でき る。 5. 適合試験の目的を説明できる。 6. 適合試験材の取扱い方法を説明でき る。 7. 練和に必要な器材を列挙できる。 8. 裏装材と粘膜調整材が練和できる。 9. 裏装材と粘膜調整材の性状の違いを 観察できる。	高山
17	6/13	仮封材・仮着材	仮封材・仮着材・暫間被覆材	仮封材・仮着材および暫間被覆材の種類 について理解する。	黒岩(昭) 横井
18	6/13	歯科補綴に関わる 材料	人工歯・義歯床用レジン・ブリッジ・ インプラントに使用する材料	人工歯、義歯床、ブリッジ、インプラントに 使用される材料について理解する。	黒岩(昭) 横井
19	6/17	切削用機器 1	1. 切削・研削・研磨の定義 2. 電気エンジン、マイクロモーター、 エアタービンの違い 3. マイクロモーター、エアタービ ンの用途 4. 切削器具 5. 研削器具 6. 研磨用器具	1. 切削・研削・研磨の定義を説明でき る。 2. 電気エンジン、マイクロモーター、エア タービンの違いを説明できる。 3. マイクロモーター、エアタービンの用途 を説明できる。 4. 切削器具の名称と用途を説明できる。 5. 研削器具の名称と用途を列挙できる。 6. 研磨用器具の名称と用途を列挙でき る。	高山

20	6/20	切削用機器 2	1. 復習 2. グループ毎の確認テスト	グループで協力し、名称と用途を説明できる。	高山
21	6/24	トレーセッティング 1 (保存修復)	直接修復 コンポジットレジン修復	1. 術式を説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
22	6/27	トレーセッティング 2 (保存修復)	間接修復 1. インレー形成、印象採得 2. インレー合着	1. 術式を説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
23	7/1	トレーセッティング 3 (歯内療法)	1. 歯髄処置(麻酔抜髄法) 2. 根管処置(根管充填)	1. 術式を説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
24	7/4	トレーセッティング 4 (歯周外科治療)	フラップ手術	1. 術式を説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
25	7/8	トレーセッティング 5 (補綴治療)	顎間関係の記録 咬合採得	1. 治療の流れを説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
26	7/11	トレーセッティング 6 (矯正治療)	1. セメンティング 2. ダイレクトボンディング法	1. 矯正装置装着の手順を説明できる。 2. 矯正歯科診療に使用される器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
27	7/18	トレーセッティング 7 (口腔外科治療)	1. 普通抜歯手術 2. 埋伏抜歯手術	1. 術式を説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
28	7/22		1. 歯槽骨整形手術 2. 歯根端(尖)切除術 3. 消炎手術	1. 術式を説明できる。 2. 使用器材を列挙できる。 3. 器材の名称と用途を説明できる。	高山
29	8/22		1. 持針器・縫合針の取り扱い 2. グループ毎の確認テスト	1. 安全な持針器・縫合針の取り扱いができる。 2. グループで協力し、抜歯鉗子の種類と適用部位を説明できる。	高山
30	8/26	合着材・接着材復習	合着材・接着材における知識、練和技術の再確認	1. 各材料の知識を再確認し、それぞれの取り扱い方法を説明できる。 2. 練和技術の課題を改善し、適切な粉液比で練和できる。	高山
31	10/23	看護学①	病院における歯科衛生士の役割 看護の概念	1. 診療所と病院の違いが理解できる。 2. 病院の機構が理解できる。 3. WHO の健康の定義が理解できる。 4. 看護師の基本的役割が理解できる。	永井
32	10/25	臨床検査①	1. 臨床検査の倫理、安全性、必要性 2. 検査の種類、検査値の読み方など	1. 臨床検査の倫理・安全性・必要性について理解する。 2. 臨床検査と歯科衛生士の役割を説明できる。 3. 検査の種類・成績の表し方・基準値とその変動要因を理解する。	中西

33	10/30	看護学②	歯科衛生士が知っておくべき看護技術 ①バイタルサインについて	1. バイタルサインが何か理解できる。 2. バイタルサインの正常値が理解できる。	永井
34	11/1	臨床検査②	1. 生体検査 (体温・脈拍・血圧) 2. 生理検査 (心電図・筋電図・血中酸素濃度)	1. 体温測定の意味を理解し、測定方法を説明できる。 2. 脈拍の意味を理解し、測定方法を説明できる。 3. 血圧測定の意味を理解し、測定方法を説明できる。 4. 心電図・筋電図・血中酸素飽和度を理解する。	中西
35	11/6	看護学③	歯科衛生士が知っておくべき看護技術 ②バイタルサイン測定の手技 ③口腔ケア	1. バイタルサインの測定法が理解できる。 2. 口腔ケアの目的、注意点、方法が理解できる。	永井
36	11/8	臨床検査③	1. 採血方法 2. 血液検査 3. 血液凝固・線溶系検査	1. 検体検査を説明できる。 2. 採血方法を説明できる。 3. 血液を使う検査の種類を列挙できる。 4. 貧血の検査を理解する。 5. 出血性素因の検査を理解する。	中西
37	11/13	看護学④	歯科衛生士が知っておくべき看護技術 ④摂食 ⑤患者への支援	1. 摂食の目的、方法について理解できる。 2. 小児、高齢者、障害者への接し方を学ぶ。	永井
38	11/15	臨床検査④	1. 生化学検査 2. 免疫・血清検査	1. 肝機能・腎機能・糖代謝の検査を理解する。 2. 炎症の検査を理解する。 3. HBV、HCV、HIVの検査を理解する。 4. アレルギーの検査を理解する。	中西
39	11/20	看護学⑤	歯科衛生士が知っておくべき看護技術 ⑥その他の看護技術 患者の観察及び治療経過の記録作成	1. 投与、罨法、吸引、吸入について理解する。 2. 患者の観察、記録について理解する。	永井
40	11/22	臨床検査⑤	1. 免疫・血清検査 2. 血液型検査 3. 感染症検査 4. 病理検査	1. 自己免疫疾患の検査を理解する。 2. 血液型検査を理解する。 3. 血液沈降速度を理解する。 4. 細菌感染症の検査を理解する。 5. 病理検査を理解する。	中西
41	11/27	看護学⑥	1. 病院歯科外来での業務 2. 入院加療を要する患者の看護 3. 地域医療活動における歯科衛生士の役割	滅菌と消毒、感染性疾患に対する対策を主に理解する。	永井
42	2/7	高齢者介護実習 1	1. 高齢者 2. 車椅子 3. 衣服の着脱 4. 義歯の着脱と清掃 5. 吸い飲み	1. 高齢者の特徴を説明できる。 2. 車椅子の構造を説明できる。 3. 車椅子の操作方法および注意点を説明できる。 4. 着患脱健を説明できる。 5. 義歯の着脱法を説明できる。 6. 義歯の清掃法を説明できる。 7. 義歯の患者指導内容を列挙できる。 8. 吸い飲みの取り扱いを説明できる。	高山

43	2/21	高齢者介護実習 2	1. 実習内容説明 2. 実習 1)車椅子の取り扱い 2)衣服着脱	1. 車椅子を安全に操作できる。 2. 車椅子の介助ができる。 3. 着患脱健を守り、衣服着脱の介助ができる。	高山
44	2/28	高齢者介護実習 3	3)義歯の清掃と取扱い 4)吸い飲みの取り扱い 3. まとめ	4. 義歯清掃ができる。 5. 義歯の患者指導内容を説明できる。 6. 吸い飲みで安全な介助ができる。	高山
45	3/6	後期のまとめ	後期の復習・確認	1. 後期の講義・実習を振り返り知識の整理ができる。 2. 各自の疑問点・不明点を解決できる。	高山

科目名		担当教員名			
保存修復・歯内療法学		森 啓、小町谷美帆、石田直之			
学 年	学 期	単位数(時間数)			
第2学年	前期	1単位(30時間)			
授業の目的(GIO)					
歯の硬組織、歯髄および根尖歯周組織などの疾患に対する予防と治療について学ぶ。					
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修： 最新歯科衛生士教本『歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法』(医歯薬出版)				
成績評価	出席、受講態度、試験				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/8	歯・歯周組織の構造と機能	硬組織・歯髄・歯周組織の形態と機能	歯の硬組織、歯髄と歯周組織の構造と機能を理解する。	森
2	4/15	歯の硬組織疾患	歯の硬組織疾患の概要	歯の物理的損傷の臨床像と症状および対処法を理解する。	森
3	4/22	硬組織疾患の診査	硬組織疾患の各種診査法	硬組織疾患の各種診査法を理解する。	森
4	5/7	硬組織の直接修復	各種成形修復法	各種成形修復法を理解する。	森
5	5/13	硬組織の間接修復	各種インレー修復法	各種インレー修復法を理解する。	森
6	5/20	歯の変色	変色の原因と処置法	変色の原因と処置法を理解する。	森
7	5/27	知覚過敏	知覚過敏の原因と処置法	知覚過敏の原因と処置法を理解する。	森
8	6/3	無菌的処置法	無菌的処置法の実際	無菌的処置法の実際と重要性を理解する。	森
9	6/10	歯髄疾患(1)	歯髄疾患の概要	歯髄疾患の原因と特徴を理解する。	石田
10	6/17	歯髄疾患(2)	歯髄疾患の病理と臨床症状	歯髄疾患の病理と臨床症状を理解する。	石田
11	6/24	歯髄疾患(3)	歯髄疾患の診査法と治療法	歯髄疾患の診査法と治療法を理解する。	石田
12	7/1	根尖歯周組織疾患(1)	根尖歯周組織疾患の概要	根尖歯周組織疾患の原因と特徴を理解する。	石田
13	7/8	根尖歯周組織疾患(2)	根尖歯周組織疾患の病理と臨床症状	根尖歯周組織疾患の病理と臨床症状を理解する。	石田
14	7/22	根尖歯周組織疾患(3)	根尖歯周組織疾患の診査法と治療法	根尖歯周組織疾患の診査法と治療法を理解する。	石田
15	8/26	外科的歯内療法	外科的歯内療法の分類と術式	外科的歯内療法の目的、適応症と術式を理解する。	石田

科目名		担当教員名			
歯周療法学		國松和司, 岩崎由紀子			
学 年	学 期	単位数(時間数)			
第2学年	前期	1単位(30時間)			
授業の目的(GIO)					
近年、国民の口腔衛生に対する意識の向上が認められるが、現在も日本人における歯の喪失の1番の原因は歯周病である。また、歯周病は生活習慣病にも認定され、超高齢社会を迎えた現在、全身疾患との関連性とも相まって、その治療の重要性はどんどん高まっている。「歯周療法学」では歯周病の原因や進行のメカニズムをよく理解し、その予防法と治療法について理解する。注意すべきは、テクニックを学ぶのではなく、疾患進行機序や予防、治療の目的や理論をよく理解することが大切である。					
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修： 最新歯科衛生士教本『歯周病学』第2版(医歯薬出版)				
成績評価	授業出席回数、聴講態度、理解度、記述試験を総合評価する。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/10	歯周組織の構造 (歯肉、歯根膜、セメント質、歯槽骨)	歯周療法学概説 歯肉、歯根膜、セメント質、歯槽骨の構造・機能	歯周療法学の意義や目的を理解する。 正常歯周組織の構造、機能を理解する。	岩崎
2	4/17	歯周病の分類	歯肉炎と歯周炎、日本歯周病学会の分類(2006)、歯周疾患およびインプラント周囲疾患の新分類(2017)、特殊な歯周病	歯周病を分類することは鑑別、診断、予防、治療に対して重要である。歯周病の分類と病態について理解する。	岩崎
3	4/24	歯周病の病因1 (細菌因子)	細菌因子 (プラーク、歯石等)	歯周病を多因子疾患として捉え、そのひとつである細菌因子について理解する。	岩崎
4	5/8	歯周病の病因2 (宿主、環境因子)	宿主、環境因子 (歯周病の進行過程)	細菌と宿主組織の応答、その応答を修飾する環境因子について理解する。	國松
5	5/15	歯周病と全身との関連 高齢者の歯周治療	歯周病と全身との関連、高齢者の歯周治療	歯周病と全身(生活習慣、全身疾患)との関連、高齢者の歯周治療について理解する。	國松
6	5/22	歯周治療の流れ 治療計画	歯周治療の流れ、治療計画	歯周治療の流れを説明でき、検査、診断、予後から治療計画を立案する過程を理解する。	國松
7	5/29	歯周組織検査	歯周組織検査の目的と意義	歯周プローブでの歯周組織検査の内容、目的、意義、プロトコールへの記録の重要性を理解する。	國松
8	6/5	歯周基本治療1	歯周基本治療の内容、目的、意義	歯周基本治療の目的や意義について理解し、原因除去療法で、治療の成否を決める重要なステージであることを知る。	國松
9	6/12	歯周基本治療2	プラークコントロール、スケーリング・ルートプレーニングの目的と意義	プラークコントロール、スケーリング・ルートプレーニングの目的と意義について理解する。	國松
10	6/19	歯周基本治療3 再評価	暫間固定、咬合調整、習癖の修正の目的と意義、歯周治療後の再評価	暫間固定、咬合調整、習癖の修正の目的と意義について理解する。歯周治療後の再評価について理解する。	國松
11	6/26	歯周外科治療1 (切除療法、組織付着療法)	各種切除、組織付着療法の術式、適応、創傷治癒について	各種切除、組織付着療法の名称、目的、術式、適応、創傷治癒について理解する。	國松

12	7/3	歯周外科治療2 (歯周組織再生療法、歯周形成手術) 口腔機能回復治療	各種歯周組織再生療法、歯周形成手術の術式、適応、創傷治癒、口腔機能回復治療について	各種歯周組織再生療法、歯周形成手術の名称、目的、術式、適応、創傷治癒、口腔機能回復治療について理解する。	國松
13	7/10	歯周病の疫学と予防 口臭	歯周病の疫学に用いる指数、第1、2、3次予防、口臭	疫学の方法論、第1、2、3次予防を理解し、歯周病の疫学に用いる指数を説明できる。口臭の原因と治療法について理解する。	國松
14	7/17	歯周病の抗菌療法 レーザー治療 根分岐部病変	歯周病の抗菌療法 レーザー治療 根分岐部病変	歯周病の抗菌療法、レーザー治療、根分岐部病変について理解する。	國松
15	8/21	メンテナンス サポータティブペリオドンタルセラピー(SPT)	歯周治療後の再評価、メンテナンス、SPTの目的、意義、方法	歯周治療後の再評価、歯周治療により改善された歯周組織、咬合を維持するためのメンテナンス、SPTについて理解する。	國松

科目名		担当教員名			
歯科補綴学		菅生秀昭、霜野良介			
学年	学期	単位数(時間数)			
第2学年	前期	1単位(30時間)			
授業の目的(GIO)					
歯科衛生士の資質向上をはかることを目的にし、咀嚼障害・咬合異常に対する歯科補綴治療の基礎知識を習得する。					
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修： 最新歯科衛生士教本『咀嚼障害・咬合異常1 歯科補綴』(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験、口頭試問、レポート、出席状況、授業態度を総合的に評価する。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/9	基礎知識	顎口腔機能の形態と機能	補綴治療に必要な基礎知識を理解する。	霜野
2	4/16	歯の欠損に伴う障害と補綴	1次～3次性障害	歯の欠損による口腔内の変化と障害について理解する。	霜野
3	4/23	補綴装置の種類と構造	固定性、可撤性補綴装置	補綴装置の種類と構造について理解する。	霜野
4	5/14	補綴歯科治療における検査・診断	医療面接、検査	医療面接、口腔内診査について理解する。	霜野
5	5/21	クラウンブリッジ治療	分類、治療の流れ	クラウンブリッジの分類と治療の流れについて理解する。	霜野
6	5/28	クラウンブリッジ治療	構成要素、治療の流れ	クラウンブリッジの構成要素と治療の流れについて理解する。	霜野
7	6/4	インプラント治療	インプラントの治療の流れ	インプラント治療について理解する。	霜野
8	6/11	歯科補綴治療とは	目的と意義、歯科衛生士の役割	QOLと補綴治療の関連性と重要性について理解する。	菅生
9	6/18	有床義歯治療	分類、治療の流れ	有床義歯の分類と治療の流れについて理解する。	菅生
10	6/25	有床義歯治療	構成要素、治療の流れ	有床義歯の構成要素と治療の流れについて理解する。	菅生
11	7/2	有床義歯治療	構成要素、治療の流れ	有床義歯の構成要素と治療の流れについて理解する。	菅生
12	7/9	器材・管理	補綴治療に用いられる器材	補綴治療に用いられる器材の名称、使用法、管理について理解する。	菅生
13	7/16	歯科技工	有床義歯の製作	有床義歯の製作法や材料について理解する。	菅生
14	7/23	歯科衛生士の役割	検査・診断時の業務 補綴治療時の業務	検査・診断時の歯科衛生士業務について理解する。 補綴治療時の歯科衛生士業務について理解する。	菅生
15	8/27	歯科衛生士の役割	患者指導	患者指導時の歯科衛生士業務について理解する。	菅生

科目名		担当教員名			
口腔外科学		中山洋子、森こず恵、松村奈穂美、内川恵里、高田寛子			
学年	学期	単位数(時間数)			
第2学年	前期	1単位(30時間)			
授業の目的(GIO)					
歯科衛生士として必要な口腔外科疾患の診査、診断、治療法、予後について理解する。					
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修: 最新歯科衛生士教本『顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔』(医歯薬出版)				
成績評価	出席状況、受講態度、定期試験の結果を総合的に評価する。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/10	口腔外科学概論	口腔の形態と機能、口腔疾患の特徴	顎口腔の形態と機能の特有性を学び口腔疾患の特徴を理解する。	中山
2	4/17	診察法	視診、問診、バイタルサイン、頭頸部の診察	全身状態の評価法、医療記録の意義を理解する。	中山
3	4/24	口腔領域の先天異常と発育異常	歯の異常、口唇口蓋裂、顎変形症	顎口腔領域に発現する先天異常、発育異常の病態と治療法を理解する。	中山
4	5/8	顎・顔面の損傷	軟組織の損傷、歯の外傷、歯槽骨骨折、顎骨骨折	顎口腔領域の外傷性疾患についてその種類、病態、治療法を理解する。	森
5	5/15	デンタルインプラント	インプラントの歴史、生体材料、osseointegration	デンタルインプラントの特徴・術式を理解する。	森
6	5/22	抜歯術	適応症・禁忌症、普通抜歯、難抜歯	抜歯の適応症・禁忌症、術式、偶発症を理解する。	森
7	5/29	口腔粘膜疾患	口内炎、扁平苔癬、カンジダ症、褥創性潰瘍	口腔粘膜疾患の病態と治療法を理解する。	松村
8	6/5	炎症性疾患	歯性感染症、特異性炎、非特異性炎、抗菌薬	顎口腔領域に発現する炎症の病態と治療法を理解する。	松村
9	6/12	顎関節疾患	顎関節の形態と機能、顎関節症、顎関節脱臼	顎関節部に発現する疾患の病態と治療法を理解する。	松村
10	6/19	嚢胞性疾患	顎骨内に発生する嚢胞、軟組織に発生する嚢胞	顎口腔領域に発現する嚢胞性疾患の病態と治療法を理解する。	高田
11	6/26	腫瘍(1)	良性上皮性腫瘍、良性非上皮性腫瘍	顎口腔領域に発現する良性腫瘍の病態と治療法を理解する。	高田
12	7/3	腫瘍(2)	悪性上皮性腫瘍、悪性非上皮性腫瘍	顎口腔領域に発現する悪性腫瘍の病態と治療法を理解する。	高田
13	7/10	唾液腺疾患	唾液腺の形態と機能、唾石、唾液腺腫瘍	顎口腔領域に発現する唾液腺疾患の病態と治療法を理解する。	内川
14	7/17	神経疾患	三叉神経痛、舌咽神経痛、顔面神経麻痺	顎口腔領域に発現する神経疾患の病態と治療法を理解する。	内川
15	8/21	血液疾患	白血病、血友病、紫斑病	血液の組成と機能を理解する。血液疾患の病態を理解する。	内川

科目名		担当教員名			
小児歯科学		森山敬太、谷田幸代			
学 年	学 期	単位数(時間数)			
第2学年	前期	1単位(30時間)			
授業の目的(GIO)					
小児期から成人に至るまでの全身と口腔領域の正常な成長発育を理解するとともに、口腔領域に発生する疾患や異常に対して小児の成長発育を考慮した予防、治療ならびに口腔健康管理について診療補助として必要な事項を理解する。					
教科書		最新歯科衛生士教本「小児歯科」(医歯薬出版)			
成績評価		定期試験			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/9	小児歯科の臨床的意義	<ol style="list-style-type: none"> 1. 意義と目的 2. 成人歯科との相違 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成長・発育・発達を考慮し、個々の口腔変化を予測する学問である事を理解する。 2. 小児の特異性を理解する。 	森山
2	4/16	人体の成長、発達発育	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体の発育 2. 精神の発達 3. 小児の生理的特徴 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体の成長・発育・発達を理解する。 2. 発育期の分類について理解する。 3. 暦齢と生理的年齢について理解する。 4. 身体の発育評価法について理解する。 5. 成長発育に影響する因子について理解する。 6. 身体の発育について理解する。 7. 胎生期、出生時、出生後の成長発育および特徴について理解する。 8. 人体諸器官の成長、発育および加齢による変化を理解する。 9. 身体の運動機能の発達、情動の発達および言語の発達について理解する。 10. 原始反射について理解する。 11. 小児の生理的特徴について理解する。 	森山
3	4/23	成長期の歯科診療	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児期の特徴 2. 口腔、顎、顔面、頭蓋の発生と成長 3. 歯の発生、発育、形成障害 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児期の特徴について理解する。 2. 顎、顔面、頭蓋の発育について理解する。 3. 顎、顔面の発育の評価について理解する。 4. 歯の発育段階、発育時期および形成障害について理解する。 5. 歯の形成障害の原因について理解する。 6. 歯の萌出機序について理解する。 7. 乳歯と永久歯の萌出時期と順序について理解する。 8. 歯の萌出異常について理解する。 	森山

4	5/14	成長期の歯科診療	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳歯と幼若永久歯の特徴 2. 歯列の成長発育 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳歯の形態的、構造的、物理・化学的特徴について理解する。 2. 乳歯の歯髄の特徴について理解する。 3. 歯の咬耗について理解する。 4. 乳歯歯根吸収、脱落の機序について理解する。 5. 幼若永久歯の定義、形態および構造について理解する。 6. 咬合発育段階について理解する。 7. 無歯期、乳歯列期、第一大臼歯萌出期、永久切歯萌出期、側方歯群萌出期、第二大臼歯萌出期の特徴について理解する。 8. 歯列・咬合の異常の原因について理解する。 9. 乳歯と永久歯咬合に影響をおよぼす環境因子について理解する。 10. 歯の早期喪失が歯列におよぼす影響について理解する。 	森山
5	5/21	小児患者の対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 診療時に必要な小児の心理 2. 患児、保護者、術者との関係 3. 医療環境との関係 4. 歯科的対応法の実際 5. 年齢別にみた一般的対応法 6. 非協力児への対応法 7. 鎮静、減痛的処置 8. 全身麻酔下集中治療 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科診療時に必要な小児の心理について理解する。 2. 患児、保護者、術者との関係の重要性について理解する。 3. 小児歯科の医療事故防止対策や診療室内の環境について理解する。 4. 小児の歯科的対応法について理解する。 5. 年齢別の対応法について理解する。 6. 非協力児への対応法について理解する。 7. 小児の鎮静、減痛的処置について理解する。 8. 全身麻酔下集中歯科治療について理解する。 	森山
6	5/28	小児歯科診療における補助1	<p>小児患児の診療方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 診査と診断 2. 治療計画 3. 患者教育 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の口腔疾患に対する診査法、診断法および治療計画について理解する。 2. 口腔疾患の予防と対策法について理解する。 	森山
7	6/4	小児歯科診療における補助2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 補助者の役割 2. 小児の歯冠修復 3. 小児歯周疾患の予防と処置 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児歯科診療における補助者の役割について理解する。 2. 診査時や麻酔時の補助について理解する。 3. ラバーダム防湿の目的について理解する。 4. 乳歯の歯冠修復について理解する。 5. コンポジットレジン修復法、インレー修復法、乳歯既製金属冠修復法、鋳造冠修復法、コンポジットレジン冠修復法について理解する。 6. 幼若永久歯の歯冠修復法について理解する。 7. 健全な歯周組織について理解する。 8. 小児歯周疾患の種類、罹患率、診査法、評価法について理解する。 9. 小児歯周疾患の予防と処置法について理解する。 	森山
8	6/11	小児歯科診療における補助3	小児の歯内療法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 乳歯歯内療法診査、診断について理解する。 2. 乳歯歯髄炎の処置について理解する。 3. 暫間的間接覆髄法について理解する。 4. 乳歯の歯髄切断法について理解する。 5. 乳歯の抜髄法について理解する。 6. 乳歯の感染根管治療法について理解する。 	森山

9	6/18	小児歯科診療における補助4	1. 小児の外科処置 2. 小児の歯の外傷	1. 乳歯抜去の適応症、禁忌症について理解する。 2. 局所麻酔法について理解する。 3. 乳歯の抜歯の術式について理解する。 4. 抜歯の後処置と留意点について理解する。 5. 全身疾患と抜歯の問題点について理解する。 6. 過剰歯の抜歯について理解する。 7. 小帯異常の処置について理解する。 8. 小児の歯の外傷の疫学、分類および処置法について理解する。 9. 乳歯外傷が永久歯におよぼす影響について理解する。 10. 歯の外傷の予後について理解する。	森山
10	6/25	小児歯科診療における補助5	1. 咬合誘導概論 2. 保隙と保隙装置 3. 咬合誘導法	1. 咬合誘導の意義と目的について理解する。 2. 咬合誘導上必要な診査、診断について理解する。 3. 保隙の目的、適応症および必要条件について理解する。 4. クラウンループ保隙装置について理解する。 5. ディスタルシュー保隙装置について理解する。 6. 舌側弧線保隙装置について理解する。 7. ナンスのホールディングアーチ保隙装置について理解する。 8. 可撤式床型保隙装置について理解する。 9. 積極的な咬合誘導法について理解する。 10. 口腔領域の悪習癖と対応について理解する。	森山
11	7/2	小児のう蝕予防1	1. 小児のう蝕疫学 2. 乳歯う蝕 3. 幼若永久歯う蝕 4. 心身に及ぼすう蝕の影響	1. 疫学的観察法について理解する。 2. 乳歯う蝕の年次推移の特徴について理解する。 3. 幼若永久歯う蝕の年次推移の特徴について理解する。 4. 乳歯う蝕の特徴、好発部位および罹患型分類について理解する。 5. 特異的な乳歯う蝕について理解する。 6. 幼若永久歯う蝕の特徴と好発部位について理解する。 7. う蝕の局所的、全身的為害作用について理解する。 8. 歯性病巣感染について理解する。	谷田
12	7/9	小児のう蝕予防2	う蝕予防と進行抑制	1. 小児の歯口清掃法について理解する。 2. う蝕予防、進行抑制法の分類について理解する。 3. う蝕予防のための食事、間食指導について理解する。 4. 予防填塞法について理解する。	谷田
13	7/16	小児のう蝕予防3	う蝕予防と進行抑制	う蝕予防における薬物応用について理解する。	谷田
14	7/23	リコールならびに患者管理	定期健診	歯科定期健診の重要性について理解する。	森山
15	8/27	心身障害児の歯科診療補助	小児疾患と歯科診療	歯科治療上問題となる遺伝性疾患、染色体異常、感染症、ビタミン欠乏症、内分泌異常、血液・造血器疾患、代謝異常、腎疾患、循環器疾患、呼吸器疾患、免疫性疾患について理解する。	森山

科目名		担当教員名			
歯科矯正学		川原良美			
学年	学期	単位数(時間数)			
第2学年	前期	1単位(30時間)			
授業の目的(GIO)					
<p>矯正治療の目的と意義を説明できる。</p> <p>正常咬合の概念と成立・保持条件を説明できる。</p> <p>不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。</p> <p>矯正装置の種類と用途を説明できる。</p> <p>矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。</p> <p>矯正治療に必要な力学を説明でき、矯正治療によって起こる生体の反応を説明できる。</p>					
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監：最新歯科衛生士教本『咀嚼障害・咬合異常2 歯科矯正』(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験による成績評価、出席状況などから総合的に評価する。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当者
1	4/9	歯科矯正学概論	矯正治療の目標 矯正治療の概要	矯正治療の目標を理解する。 矯正治療の概要を説明できる。	川原
2	4/16	成長・発育	頭蓋・顎顔面の成長発育 歯・歯列の成長発育	頭蓋・顎顔面の成長発育について理解する。	川原
3	4/23	正常咬合	正常咬合	正常咬合を理解する。 垂直被蓋、水平被蓋を理解する。	川原
4	5/14	不正咬合①	不正咬合の分類	不正咬合の分類を説明できる。 個々の歯の位置異常を説明できる。	川原
5	5/21	不正咬合②	不正咬合の原因 不正咬合の予防	不正咬合の原因を説明できる。 不正咬合の予防を説明できる。	川原
6	5/28	歯科矯正診断	診断に必要な資料 症例分析	診断に必要な資料を理解する。 症例分析を理解する。	川原
7	6/4	歯の移動	歯の移動と固定 歯の移動と組織反応	歯の移動と固定を理解する。 歯の移動に伴う組織反応を説明できる。	川原
8	6/11	矯正力	矯正力と顎整形力 保定	矯正力と顎整形力について説明できる。 保定について学ぶ。	川原
9	6/18	矯正装置①	可撤式矯正装置、固定式矯正装置、機能的矯正装置	可撤式矯正装置、固定式矯正装置、機能的矯正装置を説明できる。	川原
10	6/25	矯正装置②	顎外固定装置、顎内固定装置、保定装置、その他の装置	顎外固定装置、顎内固定装置、保定装置、その他の装置を説明できる。	川原
11	7/2	矯正器材	矯正に用いる器材 プライヤーの種類	矯正に用いる器材、プライヤーの種類を覚え、使い方を理解する。	川原
12	7/9	口腔保健管理	口腔保健管理 筋機能訓練法	口腔保健管理を習得する。 筋機能訓練法について説明できる。	川原
13	7/16	矯正治療①	子供の矯正治療 大人の矯正治療	治療の流れと症例に応じた装置を説明できる。	川原
14	7/23	矯正治療②	症例別治療の実際	治療の流れと症例に応じた装置を説明できる。	川原
15	8/27	総復習	演習問題による総復習	歯科矯正学を復習し、理解する。	川原

科目名		担当教員名				
歯科放射線・歯科麻酔学		黒岩博子、谷山貴一、小川さおり				
学 年	学 期	単位数(時間数)				
第2学年	前期	1単位(30時間)				
授業の目的(GIO)						
1. 歯科医療における画像検査法の特徴と適応ならびに歯科診療補助としての十分な知識、技能を有するとともに、放射線の人体に対する影響、放射線防護の方法について理解する。 2. 歯科治療における局所麻酔、精神鎮静法および全身麻酔の基本を理解する。 3. 救急処置の基本を理解する。						
教科書		歯科衛生士テキスト『わかりやすい歯科放射線学』第3版(学建書院) 全国歯科衛生士教育協議会監修: 最新歯科衛生士教本『顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔』(医歯薬出版)				
成績評価		定期試験の成績、出席状況、受講態度で評価する。				
回数		日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1		4/8	全身状態評価	1. バイタルサイン 2. モニタリング	1. バイタルサインを把握できる。 2. 呼吸器系・循環器系のモニターについて説明できる。	谷山
2	歯科麻酔学	4/15	局所麻酔	1. 局所麻酔薬 2. 血管収縮薬 3. 局所麻酔法 1) 表面麻酔 2) 浸潤麻酔 3) 伝達麻酔	1. 局所麻酔薬を分類できる。 2. 血管収縮薬の種類と特徴を説明できる。 3. 局所麻酔法の種類と特徴を説明できる。	谷山
3		4/22	局所麻酔の合併症 歯科治療時の全身偶発症	1. 局所麻酔の局所的合併症 2. 局所麻酔の全身的合併症 3. 神経性ショック 4. 過換気症候群 5. アナフィラキシーショック	1. 局所麻酔の合併症を説明できる。 2. 歯科治療時の全身偶発症を説明できる。	谷山
4		5/13	精神鎮静法 全身麻酔	1. 吸入鎮静法 2. 静脈内鎮静法 3. 吸入麻酔 4. 静脈内麻酔	1. 精神鎮静法の目的を説明できる。 2. 精神鎮静法の種類を説明できる。 3. 全身麻酔の目的を説明できる。 4. 全身麻酔の種類を説明できる。	小川
5		5/20	心肺蘇生法	1. 一次救命処置 2. 二次救命処置	1. 一次救命処置を説明できる。 2. 二次救命処置を説明できる。	小川
1		歯科放射線学	5/30	1. 放射線とエックス線 2. 歯科衛生士の役割	1. 自然放射線と人工放射線 2. 放射線の種類 3. エックス線の性質 4. エックス線の単位 5. エックス線の発生 6. 歯科衛生士の役割	1. 身のまわりの放射線を説明できる。 2. 放射線の種類とエックス線の性質、単位、発生について説明できる。 3. 歯科衛生士の役割を理解する。

2	歯科放射線学	6/6	1. 放射線の影響 2. 歯科用엑스線撮影装置	1. 生体に対する影響 2. 放射線障害の分類 3. 歯科用엑스線撮影装置 4. 口内法엑스線撮影装置	1. 放射線の人体に対する影響について、身体的影響と遺伝的影響、確定的影響と確率的影響に関して説明できる。 2. 歯科用엑스線撮影装置の種類について説明できる。 3. 口内法撮影装置の構造について説明できる。	黒岩(博)
3		6/13	1. 엑스線フィルム 2. 엑스線画像の形成と幾何学的因子	1. 엑스線フィルムの基本構造 2. 口内法、口外法撮影に使用するフィルムと器材 3. 엑스線画像の形成 4. コントラスト 5. 画像に影響する因子	1. 엑스線フィルムの基本構造について説明できる。 2. フィルムの種類とその器材の取り扱いについて説明できる。 3. 画像形成の原理と幾何学的因子について説明できる。 4. 被写体コントラストと写真コントラストについて説明できる。 5. 像の拡大、ひずみ、半影、鮮鋭度について説明できる。	黒岩(博)
4		6/20	口内法撮影法	1. 二等分法、平行法、咬翼法、咬合法 2. 正放線投影法と偏心投影法 3. 口内法撮影法の手順	1. 口内法엑스線撮影の種類と適応を説明できる。 2. 水平的垂直的投影法の種類と特徴を説明できる。 3. 口内法엑스線撮影法の手順について説明できる。	黒岩(博)
5		6/27	口外法撮影法	1. パノラマ엑스線撮影 2. 頭部엑스線規格撮影 3. CT 4. 歯科用コーンビーム CT (CBCT) 5. MRI 6. 超音波診断装置(US) 7. シンチグラフィ 8. 造影検査法	1. パノラマ엑스線撮影の特徴と適応を説明できる。 2. 頭部엑스線規格撮影の特徴と適応を説明できる。 3. 顎・顔面領域で利用する特殊画像検査法の種類、特徴、適応を説明できる。	黒岩(博)
6		7/4	フィルム処理	フィルム処理の流れと管理	フィルム処理の流れと方法、その写真処理について説明できる。	黒岩(博)
7		7/11	デジタル엑스線システム	デジタル엑스線撮影の特徴とシステムの種類	デジタル엑스線撮影の特徴とシステムの種類を説明できる。	黒岩(博)
8		7/18	1. 正常な엑스線画像 2. 病変の画像	1. 口内法엑스線撮影、パノラマ엑스線撮影の正常像 2. 病変の画像例	1. 口腔領域で利用される엑스線撮影で描出される正常像について説明できる。 2. 歯および歯周組織の疾患、顎・顔面領域の疾患の異常像について説明できる。	黒岩(博)
9		8/22	1. 放射線の防護と管理 2. 放射線治療	1. 放射線防護の目的 2. 被ばくの分類 3. 放射線防護体系 4. 放射線防護の実際 5. 被ばく線量測定 6. 放射線治療の方法 7. 放射線治療の副作用 8. 放射線治療患者の口腔管理	1. 歯科엑스線検査における患者と術者放射線医療従事者の放射線防護について説明できる。 2. 放射線治療の種類、方法、副作用を説明できる。 3. 放射線治療患者の口腔管理について説明できる。	黒岩(博)

10		8/29	歯科放射線学の総括	<ul style="list-style-type: none"> 1. 総括 2. フィルムマウント実習 	<ul style="list-style-type: none"> 1. 歯科放射線学に必須とされる項目について再度確認し、理解することができる。 2. 実習を通して、口内法エックス線撮影の正常解剖像について理解できる。 	黒岩 (博)
----	--	------	-----------	--	---	-----------

科目名		担当教員名			
障害者歯科学		朝比奈 滉直			
学 年	学 期	単位数(時間数)			
第2学年	前 期	1単位(30時間)			
授業の目的(GIO)					
スペシャルニーズのある人へ歯科保健と歯科医療を提供するための態度を習得する。					
教科書	最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版(医歯薬出版)				
成績評価	定期試験による成績評価、出席状況などから総合的に評価する。				
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/9	障害者歯科総論 1	障害の概念	スペシャルニーズおよび障害者の概念を理解する。 ICFについて理解する。 障害の受容について理解する。 ノーマライゼーションとバリアフリーを理解する。 障害者の社会福祉制度を理解する。	朝比奈 (滉)
2	4/16	障害者歯科各論 1	知的能力障害者と歯科医療	知的能力障害について理解する。 知的能力障害者の口腔内の特徴を理解する。	朝比奈 (滉)
3	4/23	障害者歯科各論 2	自閉スペクトラム症と歯科医療	自閉スペクトラム症について理解する。 自閉スペクトラム症の口腔内の特徴を理解する。	朝比奈 (滉)
4	5/14	障害者歯科各論 3	発達障害と歯科医療	発達障害について理解する。 発達障害者の口腔内の特徴を理解する。	朝比奈 (滉)
5	5/21	障害者歯科各論 4	身体障害と歯科医療 1	身体障害について理解する。 身体障害者の口腔内の特徴を理解する。	朝比奈 (滉)
6	5/28	障害者歯科各論 5	身体障害と歯科医療 2	身体障害について理解する。 身体障害者の口腔内の特徴を理解する。	朝比奈 (滉)
7	6/4	障害者歯科各論 6	精神障害と歯科医療	精神障害について理解する。 精神障害者の口腔内の特徴を理解する。	朝比奈 (滉)
8	6/11	障害者歯科各論 7	障害者への行動調整 1	行動調整を理解する。	朝比奈 (滉)
9	6/18	障害者歯科各論 8	障害者への行動調整 2	特殊な行動調整について理解する。	朝比奈 (滉)
10	6/25	障害者歯科各論 9	障害者への口腔衛生管理	障害者への口腔ケアを理解する。 障害や疾患別の口腔衛生管理を説明できる。	朝比奈 (滉)
11	7/2	障害者歯科各論 10	地域での障害者歯科 1	地域医療連携を理解する。 各医療機関での歯科衛生士の役割を理解する。 地域での、かかりつけ歯科医の有利性を理解する。	朝比奈 (滉)
12	7/9	障害者歯科各論 11	地域での障害者歯科 2	地域医療連携を理解する。 各医療機関での歯科衛生士の役割を理解する。 地域での、かかりつけ歯科医の有利性を理解する。	朝比奈 (滉)
13	7/16	障害者歯科各論 12	障害者への歯科保健指導 1	障害者への歯科保健指導について理解する。	朝比奈 (滉)
14	7/23	障害者歯科各論 13	障害者への歯科保健指導 2	障害者への歯科保健指導について理解する。	朝比奈 (滉)
15	8/27	まとめ	まとめ	今までの講義を復習する。	朝比奈 (滉)

科目名		担当教員名			
高齢者歯科学		山上裕介			
学 年	学 期	単位数(時間数)			
第2学年	前期	1単位(30時間)			
授業の目的(GIO)					
スペシャルニーズのある人へ歯科保健と歯科医療を提供するための態度を習得する。					
教 科 書		全国歯科衛生士教育協議会監修: 『高齢者歯科』第2版(医歯薬出版)			
成 績 評 価		定期試験による成績評価、出席状況などから総合的に評価する。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/10	スペシャルニーズと 歯科	スペシャルニーズとは?	スペシャルニーズと歯科を説明する。	山上
2	4/17	高齢者歯科総論	老年医学総論、加齢	加齢現象を説明する。	山上
3	4/24	高齢者歯科各論1	老化に伴う全身的な変化	全身的な加齢変化を説明する。	山上
4	5/8	高齢者歯科各論2	老化に伴う口腔の変化	口腔の加齢変化を説明する。	山上
5	5/15	高齢者歯科各論3	高齢者の症候と評価	高齢者の症候と評価を説明する。	山上
6	5/22	高齢者歯科各論4	高齢者によく見られる疾患(1)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	山上
7	5/29	高齢者歯科各論5	高齢者によく見られる疾患(2)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	山上
8	6/5	高齢者歯科各論6	高齢者によく見られる疾患(3)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	山上
9	6/12	高齢者歯科各論7	高齢者によく見られる疾患(4)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	山上
10	6/19	高齢者歯科各論8	高齢者によく見られる疾患(5)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	山上
11	6/26	高齢者歯科各論9	高齢者によく見られる疾患(6)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	山上
12	7/3	高齢者歯科各論10	高齢者によく見られる疾患(7)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	山上
13	7/10	高齢者歯科各論11	高齢者によく見られる疾患(8)	高齢者によくみられる疾患と対応、歯科保健について説明する。	山上
14	7/17	高齢者歯科各論12	高齢者に対する口腔ケア	高齢者への口腔ケアについて説明する。	山上
15	8/21	高齢者歯科各論13	要介護高齢者と歯科保健	要介護高齢者、ターミナルケアと歯科保健について説明する。	山上

科目名		担当教員名			
摂食・嚥下学		田村瞬司			
学年	学期	単位数(時間数)			
第2学年	前期	2単位(30時間)			
授業の目的(GIO)					
高齢者歯科医療、在宅訪問歯科医療における摂食・嚥下リハビリテーションの役割を理解し、歯科衛生士の役割について理解する。					
教科書	歯科衛生士のための摂食・嚥下リハビリテーション (医歯薬出版)				
成績評価	定期試験による成績評価、出席状況などから総合的に評価する。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/11	摂食・嚥下リハビリテーション概論	摂食・嚥下リハビリテーションとは何かについて説明する。摂食・嚥下リハの一連の流れについて説明する。	摂食・嚥下リハビリテーションとは何かを理解し、診療の流れについて説明する。	田村
2	4/18	障害者、要介護高齢者	障害者、要介護高齢者、ADL(日常生活動作)について説明する。	障害者、要介護高齢者の実態について理解し、実際に対応できるようにする。	田村
3	4/25	摂食・嚥下に関わる生理(小児、成人)	小児と成人の摂食・嚥下機能について説明する。摂食・嚥下の正常メカニズムについて説明する。	摂食・嚥下機能のメカニズムについて説明する。	田村
4	5/16	摂食・嚥下に関わる解剖(小児、成人)	小児と成人の摂食・嚥下機能に関連する解剖について説明する。	摂食・嚥下機能に関わる各部位の名称を覚え、正常のメカニズムについて理解する。	田村
5	5/23	摂食・嚥下障害の診査・スクリーニング検査1	摂食・嚥下機能の神経学的障害と器質的障害の原因疾患と病態について説明する。	摂食・嚥下機能の神経学的障害と器質的障害の原因疾患と病態について理解する。	田村
6	5/30	摂食・嚥下障害の診査・スクリーニング検査2	口腔・咽頭機能の神経学的障害とその診査の仕方、スクリーニング検査について説明する。	神経学的疾患による口腔、咽頭機能の障害の現れ方を理解する。摂食・嚥下障害のスクリーニングテストのやり方を説明できる。	田村
7	6/6	衛生士に求められる摂食機能障害の評価	医療面接からスクリーニングまでで歯科衛生士が果たす役割を説明する。	摂食機能療法における歯科衛生士の役割を説明できる。	田村
8	6/13	摂食・嚥下障害の精密検査1	ビデオ内視鏡検査(VE)とビデオ嚥下造影検査(VF)を用いた摂食・嚥下障害の診断方法を説明する。	VE、VFによって口腔、咽頭がどのように見ることができるか理解し、VE、VFの利点、欠点について説明できる。	田村
9	6/20	摂食・嚥下障害の精密検査2	VEとVFを用いた評価方法について、実際の機器を使って説明する。	実際にVE、VFを使用した評価方法について学ぶ。	田村
10	6/27	栄養	摂食嚥下障害患者の栄養管理・低栄養とその影響、サルコペニア、見極め方について説明する。	栄養評価、低栄養、サルコペニア、栄養管理法について説明する。	田村
11	7/4	呼吸リハビリテーション	摂食・嚥下と呼吸の関連、呼吸機能の低下とリハビリテーションについて説明する。	摂食・嚥下と呼吸との関連性、呼吸障害、排痰、吸引方法について説明する。	田村
12	7/11	訪問診療・地域連携	歯科の訪問診療の目的と行い方、地域連携について説明する。訪問診療の中でできる摂食・嚥下機能療法について説明する。	訪問歯科診療の行われ方を理解し、その中で口腔ケアと摂食・嚥下機能療法の行い方、他職種との連携について説明する。	田村

13	7/18	摂食・嚥下障害者への対応1(対応上のリスク管理)	摂食・嚥下障害者への対応上、気をつけた方がいい点について説明する。緊急時、偶発時への対処法について説明する。	摂食・嚥下機能療法中に起こりうる偶発症について学び、その対処法について実践できるようになる。	田村
14	8/22	摂食・嚥下障害者への対応2(機能訓練)	摂食・嚥下障害者への機能訓練の目的とやり方について実習形式で学ぶ。	機能訓練の目的と実践方法について理解する。	田村
15	8/29	摂食・嚥下障害になる疾患	摂食・嚥下機能の神経学的障害と器質的障害の原因疾患と病態について説明する。	脳血管疾患、アルツハイマー病の病態と嚥下障害について理解する。	田村

科目名			担当教員名		
歯科英語			郷 育子		
年		学 期		単位数(時間数)	
第2学年		前期		2単位(30時間)	
授業の目的(GIO)					
基本的な英語の発音を学びながら、歯科衛生士として、診療の際に必要な英語能力を養う。					
教科書		プリント配布			
成績評価		定期試験および、出席、授業への参加などから総合的に判断する。			
回数	日付	項 目	講 義 内 容	学 習 到 達 目 標	担当
1	4/10	Class 1	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
2	4/17	Class 2	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
3	4/24	Class 3	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
4	5/8	Class 4	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
5	5/15	Class 5	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
6	5/22	Class 6	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
7	5/29	Class 7	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
8	6/5	Class 8	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
9	6/12	Class 9	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
10	6/19	Class 10	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
11	6/26	Class 11	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
12	7/3	Class 12	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
13	7/10	Class 13	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
14	7/17	Class 14	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷
15	8/21	Class 15	Using dental-related English	リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング	郷

科目名		担当教員名			
キャリアデザイン		島田陽子、竹岡亜紀、 三村杏奈、高山きよ江 他			
学 年	学 期	単位数(時間数)			
第2学年	前期	2単位(30時間)			
授業の目的(GIO)					
「働くこと」を自分のこととして捉えると共に、自分らしい「キャリアの在り方」についての洞察を深め、将来社会に出て実践できるように、社会人として求められる姿勢や資質・能力を身につける。					
教科書		アクティブラーニング型キャリア教育ワークブック やる気の根っこ 未来ノート(職業教育・キャリア教育財団)			
成績評価		①出席 30% ②個人学習(参画度、主体性、事前課題、ワークシートなど) 30% ③チーム学習(参画度、主体性、演習、ワークシート、発表など) 30% ④その他(積極性、意欲、勤勉性など) 10%			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	4/8	チーム学習を進めるために	話し合いの意義	1. 何かを一方向的に教わるのではなく、メンバー一人ひとりが自分のキャリアの方向性を主体的に見つけていくことを理解できる。 2. 個人のワークとチームのワークを行っていくチーム学習の大切さとコツを知る。 3. チーム学習を円滑に行うために大切なファシリテーションについて学び、メンバー同士の関わり方を身につける。	島田
2	4/15	自己理解1	私の大切なもの探し	1. 自分の価値観を形づくっている大切なものは、自分にとってどのような重みや位置づけにあるのか、その現状を再認識し、今後それをどう活かしていけばよいのかを考えることができる。 2. 自分の価値観について、自分なりの言葉・文章にすることができる。 3. 自分が気づいた価値観をチームで互いに共有し、人それぞれに大切な価値観があることに気づく。	島田
3	4/22	自己理解2	私ってどんな人？	1. 自己理解を深めることによって、自分自身を「他者に伝える」ことを意識して、「自己イメージ」を言語化・明確化できる。 2. 「自分らしさ」とはどのようなものを意識し、洞察を深めることができる。	竹岡
4	5/7	自己理解3	自分を知る手がかり	1. 自分から見た自分と、他人から見た自分が一致、または一致しなかった結果を受け止め、自分についての気づきを得る。 2. 人は他者との関わりの中で生きており、他者は自分が成長するための大切な存在であることを再認識する。 3. 心の「開かれた窓」を大きくするために、他者の意見に耳を傾け、自分の意見も素直に伝えることができる。	三村

5	5/13	自己理解4	過去を振り返ろう	<ol style="list-style-type: none"> 過去のライフ・イベント(人生上の出来事)を通して、自分の人生に対する態度(心がまえ)の根っこにあるものに気づき、自分らしさについて考えることができる。 自分の態度(心がまえ)をどのように変えていけば、前向きに人生を歩めるかのポイントが理解できる。 自分の「やる気の根っこ」を形づくっているものは何かについて洞察を深め、そのことが今後の進路選択における自己決定の要因になることを理解できる。 	高山
6	5/20	自己理解5	なぜ働くの？	<ol style="list-style-type: none"> 自分にとっての「働く理由」や思いについての洞察を深めることができる。 メンバーの「働く理由」「働く意味」の違いに気づき、多様な価値観があることを受け入れられるようになる。 	高山
7	5/27	仕事理解1	地図を作ってみよう！	<ol style="list-style-type: none"> 仕事を行う上で必要な意識や態度について理解できる。 自分のコミュニケーション特性を知り、仕事をする上で大切となる円滑なコミュニケーションの取り方を体得する。 	島田
8	6/3	仕事理解2	ケーススタディで学ぶ実際の仕事	<ol style="list-style-type: none"> 社会・組織の一員として、どのように行動すれば良いのかや、組織の中での自分の役割について考えることができる。 仕事を行う上で大切な仕事の進め方や、身につけておくべき基本的な意識と態度について理解できる。 	竹岡
9	6/10	仕事理解3	インタビューしてみよう	<ol style="list-style-type: none"> 働いている人は、どのようにしてその仕事に従事したのか、働くということはどのようなことが実感できる。 実際に身近に働いている人の話を聞いて、仕事をする自分を自分に引き寄せて考えることができる。 仕事をするとは、単に収入を得るだけでなく、生き甲斐や自己成長の役割があることを理解できる。 	高山
10	6/17	仕事選択-未来に向けて-1	模擬店を出そう①	<ol style="list-style-type: none"> 第1章～第3章を振り返り、「自己理解」と「仕事理解」のマッチングができると、仕事選択がしやすくなり、キャリア・プランが立てやすくなることを理解できる。 	三村
11	6/24	仕事選択-未来に向けて-2	模擬店を出そう②	<ol style="list-style-type: none"> 仕事の進め方を模擬体験することで、全体の目標を達成するための組織の一員としての役割や「協働」について考えることができる。 	

12	7/1	仕事選択-未来に向けて-3	未来ページ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「10年後の自分」：「自己理解」と「仕事理解」を心の中でマッチングさせ、自分のキャリアの目標が設定できる。 2. キャリアの目標を実現するために具体的なキャリア・プランニングを行い、「学習目標」を明確にできる。 3. 共に学んできた仲間に対して、感謝と励ましのメッセージを贈り、互いのキャリア目標達成のために実践を誓いあう。 	竹岡
13	7/8	講話1	先輩の話を聴こう①	1. 歯科衛生士として働く先輩の話を「聴く」ことができる。	小林夏実
14	7/22	講話2	先輩の話を聴こう②	2. 歯科衛生士として働く先輩が、どのようなやり甲斐を感じているか実感できる。	金子美佳
15	8/26	プレゼンテーション	私の未来	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「未来ページ」で設定した目標およびその実現に向け、自分自身の想いを発表できる。 2. 「聴き手に届くプレゼンテーション」を工夫できる。 	島田

科目名		担当教員名			
衛生行政・社会福祉		土屋総一郎、定岡直			
学年	学期	単位数(時間数)			
第2学年	後期	2単位(30時間)			
授業の目的(GIO)					
歯科衛生士として、国民の健康増進と適切な歯科医療を提供するために必要な衛生行政、社会保障および社会福祉に関わる組織、法律について理解する。					
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修:最新歯科衛生士教本「歯科衛生士と法律・制度」第3版(医歯薬出版)				
成績評価	筆記試験、授業態度等の評価点により総合的に判定する。				
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	10/23	衛生行政	衛生行政の目的、衛生行政の沿革、衛生行政の組織	1. 衛生行政の歴史について説明できる。 2. 衛生行政の目的について説明できる。	土屋 定岡
2	10/30	関連法規 1	法制概論、歯科衛生士法	1. 法の種類と意義について説明できる。	土屋 定岡
3	11/6	関連法規 2	医師法、歯科医師法、薬剤師法、 歯科技工士法、保健師助産師看護 師法	1. 医療従事者の役割について説明できる。 2. チーム医療について説明できる。	土屋 定岡
4	11/13	関連法規 3	医療に関連する法規	1. 医療施設の定義について説明できる。 2. 各法規について説明できる。	土屋 定岡
5	11/20	関連法規 4	医療に関連する法規	1. 各法規について説明できる。	土屋 定岡
6	11/27	社会保障	社会保障制度の沿革、社会保障 の目標と機能、ライフサイクルに おける社会保障制度、世界の社 会保障制度	1. 社会保障の目標・機能について説明できる。 2. 諸外国における社会保障制度との比較につ いて説明できる。	土屋 定岡
7	12/4	社会保障 保険 1	社会保険行政の組織、医療保険 制度、年金制度、労働保険制度	1. 年金機構などについて説明できる。	土屋 定岡
8	12/11	社会保障 保険 2	医療保険	1. 医療保険の種類と概要について説明できる。 2. 国民医療費の現況について説明できる。	土屋 定岡
9	12/18	社会保障 保険 3	年金制度、雇用保険・労働者災 害補償保険制度、介護保険	1. 年金制度について説明できる。 2. 保険について説明できる。	土屋 定岡
10	1/8	社会福祉 1	社会福祉、社会福祉行政、社会 福祉の担い手、生活保護制度	1. 福祉・介護サービス従事者について説明でき る。	土屋 定岡
11	1/15	社会福祉 2	児童と家庭の福祉制度、障害者 の福祉制度、高齢者の福祉制度	1. 児童福祉の概要について説明できる。 2. 母子福祉について説明できる。 3. 障害者基本法について説明できる。 4. 高齢者の保健と福祉について説明できる。	土屋 定岡
12	1/22	保健医療の動向	厚生関係統計調査、国民の健康 状態と受療状況	1. 人口とその動態について説明できる。 2. 国民の生活習慣と健康について説明できる。	土屋 定岡
13	2/12	保健と医療の実 務1	歯科健診、保険医療機関の債 務、診療報酬	1. 保険診療について説明できる。 2. 医療費の請求と支払について説明できる。	土屋 定岡
14	2/19	保健と医療の実 務2	居宅療養、訪問歯科診療、訪問 介護	1. 要介護者に対する医療保険と介護保険の関 係を説明できる。	土屋 定岡
15	2/26	国際保健、 国際協力	国際保健機関、国際協力機構	1. 国際保健機関について説明できる。	土屋 定岡

科目名		担当教員名			
医療事務（歯科）		野澤百合子			
学 年	学 期	単位数(時間数)			
第2学年	後期	4単位(70時間)			
授業の目的(GIO)					
歯科医療事務職として必要な医療保険の仕組みを理解し、歯科治療における保険請求事務知識を習得することを目的とする。					
教科書		医療事務講座歯科 テキスト1~4、スタディブック、サブテキスト(株式会社ニチイ学館)			
成績評価		確認テスト、レポート提出、修了試験、出席状況			
回数	日付	項目	講義内容	学習到達目標	担当
1	10/25	医療保険制度 1	1. 医療保険制度の基礎知識 2. 保険診療のしくみ 3. 医療保険の種類	1. 医療事務の仕事について理解する。 2. 医療保険と保険診療のしくみについて理解する。 3. 医療保険の種類と特徴を理解する。	野澤
2					
3	11/1	医療保険制度 2	1. 被保険者証の見方 2. その他の保険制度 3. 受付事務の基礎知識	1. 被保険者証の見方を理解する。 2. 後期高齢者・公費負担・介護保険制度について理解する。 3. カルテの上書きと窓口徴収について理解する。	野澤
4		患者接遇 1	1. 患者接遇の基本マナー	1. 医事担当者としての対応・言葉遣いの基本を身につける。 2. 好感をもたれる態度と電話対応の基本を身につける。	野澤
5	11/8	患者接遇 2	1. 患者受付の実際 2. 職場のコミュニケーション 3. 受験対策(実技 I)	1. 窓口対応と受付事例のロールプレイングを行い実践的スキルを身につける。 2. クレーム対応方法と職場のコミュニケーションについて理解する。 3. 実技 I 試験の解答要領を身に付ける。	野澤
6					
7	11/15	歯科の基礎知識 歯科点数表とその解釈 1 (基本診療料)	1. 歯科の基礎知識 2. 初診料・再診料	1. 医療保険請求に関わる歯牙の解剖と歯牙の表示のしかたを理解する。 2. 初診料・再診料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。	野澤
8					
9	11/22	歯科点数表とその解釈 2 (特掲診療料)	1. 医学管理等 2. 在宅医療 3. 投薬料	1. 医学管理等の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。 2. 在宅医療の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。 3. 投薬料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。	野澤
10					
11	11/29	歯科点数表とその解釈 3 (特掲診療料)	1. 画像診断 2. 麻酔料 3. 検査料	1. 画像診断料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。 2. 麻酔料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。 3. 検査料の点数及び算定条件と明細書の記載要領について理解する。	野澤
12					
13	12/4	歯科点数表とその解釈 4 (特掲診療料)	1. 歯冠修復・歯冠形成 1	1. 歯冠修復の算定方法と歯冠形成の種類を理解する。	野澤

14	12/6	歯科点数表とその 解釈 5 (特掲診療料)	1. 歯冠修復・歯冠形成 2	1. 歯冠修復と歯冠形成の関連を修復物の種類ごとに理解する。	野澤
15					
16	12/11	歯科点数表とその 解釈 6 (特掲診療料)	1. 歯冠修復・歯冠形成 3	1. 歯冠修復と歯冠形成の明細書の記載要領について理解する。	野澤
17	12/13	症例による点数算 定と規則 1	1. 初期う蝕症	1. 初期う蝕症の治療の流れと点数算定を理解する。 2. 初期う蝕症の点検のポイントを理解する。	野澤
18					
19	12/18	症例による点数算 定と規則 2	1. 歯髄炎 1	1. 歯髄炎の治療の流れと点数算定を理解する。	野澤
20	12/20	症例による点数算 定と規則 3	1. 歯髄炎 2 2. 感染根管 1	1. 歯髄炎の点検ポイントを理解する。 2. 感染根管の治療の流れと点数算定を理解する	野澤
21					
22	1/8	症例による点数算 定と規則 4	1. 感染根管 2	1. 感染根管の点検ポイントを理解する。	野澤
23	1/10	症例による点数算 定と規則 5	1. その他の疾患 2. 歯周疾患 1	1. その他の疾患の治療の流れと点数算定を理解する。 2. その他の疾患の点検ポイントを理解する。 3. 歯周疾患の治療の流れと点数算定を理解する。	野澤
24					
25	1/15	症例による点数算 定と規則 6	1. 歯周疾患 2	1. 歯周疾患の点検ポイントを理解する。	野澤
26	1/17	症例による点数算 定と規則 7	1. 口腔粘膜等の疾患 2. 欠損補綴(ブリッジ)1	1. 口腔粘膜等の疾患の治療の流れと点数算定を理解する。 2. 口腔粘膜等の疾患の点検ポイントを理解する。 3. ブリッジの作成手順と点数算定を理解する。	野澤
27					
28	1/22	症例による点数算 定と規則 8	1. 欠損補綴(ブリッジ)2	1. ブリッジの点検ポイントを理解する。	野澤
29	1/24	症例による点数算 定と規則 9	1. 欠損補綴(有床義歯)	1. 有床義歯の作成手順と点数算定を理解する。 1. 有床義歯の点検ポイントを理解する。	野澤
30					
31	1/31	症例による点数算 定と規則 10	1. 欠損補綴(床適合と修理) 2. 再装着と修理 3. 未装着請求 4. 受験対策(学科)	1. 有床義歯の床適合と修理の点数算定と点検ポイント を理解する。 2. 歯冠修復物・ブリッジの再装着・修理の点数算定と点 検ポイントを理解する。 3. 未装着請求の点数算定と請求方法を理解する。 4. 学科試験の解答要領を身に付ける。	野澤
32					
33	2/7	カルテ例による 明細書点検 1	1. レセプト点検 1	1. 医事システムにおける保険請求について理解する。 2. カルテとの突き合わせ点検練習によりレセプト点検 の技能を身につける。	野澤
34					
35	2/14	カルテ例による 明細書点検 2	1. レセプト点検 2	1. カルテとの突き合わせ点検練習によりレセプト点検 の技能を身につける。	野澤
36					

37	2/21	カルテ例による 明細書点検 3	1. レセプト点検 3	1. カルテとの突き合わせ点検練習によりレセプト点検の技能を身につける。	野澤
38					
39	2/28	カルテ例による 明細書点検 4	1. レセプト点検 4	1. カルテとの突き合わせ点検練習によりレセプト点検の技能を身につける。	野澤
40					
41	3/6	カルテ例による 明細書点検 5	1. レセプト点検 5 2. 技能審査試験受験指導	1. レセプトのみの点検練習により実務に即した技能を身に付ける。 2. 技能審査試験の科目ごとの問題形式の理解と時間配分を身につける。	野澤
42					

科目名		担当歯科医師	担当歯科衛生士
臨地実習 I 総合口腔診療部門（保存分野）		森 啓	中島香奈子
学年	学期	単位	
第2学年	後期	—	
実習の目的 (GIO)			
保存修復学ならびに歯内療法学について、講義で学んだ理論と基礎実習で習得した手技を基にして、臨床実習においては卒業後直ちに一般歯科臨床に携われるまでに、知識と手技を向上する。			
評価方法	1. 実習の進捗状況 2. 臨床ケースに対するレポート・口頭試問 3. 習得キーワードの習得 4. 実習に臨む態度、身だしなみ、出席状況		
項目	実習内容	行動目標	
診療のシステム	指導者より説明を受け、検印を受ける。	診療室の設備・運用、機器の配置についての知識を習得する。	
各種器械類の理解	各種器械類の用途について説明を受け、さらに超音波発生装置、パルプテスターについてはレポートを提出し検印を受ける。	超音波発生装置、根管長測定器、パルプテスターについての使用目的、使用方法についての知識を習得する。	
診療見学・補助	診療見学、補助を行い、治療の術式および内容に関するレポートを作成、提出。習得キーワード項目に検印を受け、満了する。満了できない場合は口頭試問にて補う。	器材準備、術式、処置の流れ、フォーハンドテクニックについての知識と手技を習得する。	
歯科材料の取り扱い	各種歯科材料の用途についてレポート提出と口頭試問を行い、さらにセメント、印象材については説明を受けた上で、各自練習を行い指導者より評価を受ける。	歯科材料の使用目的と使用方法についての知識を習得し、取り扱いについての手技を向上させる。	
相互実習	相互実習を行い指導者より評価を受ける。	歯科材料の取り扱い、バキュームテクニック、患者への対応を理解したうえで、相互実習を行いより高い手技を習得する。	
<注意事項> 1. 欠席せずに、自発的かつ積極的に実習に臨むこと。 2. 習得キーワードを積極的に習得すること。			

科目名		担当歯科医師	担当歯科衛生士
臨地実習 I 総合口腔診療部門（歯周分野）		國松和司	柳沢みさき
学年	学期	単位	
第2学年	後期	—	
実習の目的 (GIO)			
歯周療法学および歯科予防処置論の講義、実習で習得した知識、技能をもとに、各種歯周治療における介助、患者教育、手技を習得する。			
評価方法	実習に臨む姿勢、出席状況、臨床実習(見学、介助、実施)にて習得すべき全てのケースの終了、レポート提出、口頭試問によって評価する。		
項目	実習内容	行動目標	
歯周組織検査	各歯周組織検査項目の測定および、結果の説明 歯周組織検査の相互実習、患者実習	歯周組織検査の必要性、使用器具の使用法を理解し、実施する。 各歯周組織検査項目について測定し、理解し、その結果を適切に説明する。	
口腔内写真撮影	口腔内写真撮影の介助、相互実習	口腔内写真の必要性を理解し、説明をする。 また、相互実習を通して、適切な介助、および撮影が行えるようにする。	
プラークコントロール	O' Leary の PCR の測定の相互実習、患者実習 業務記録の作成	歯周治療におけるプラークコントロールを理解し、実施する。 業務記録を作成する。	
歯肉縁上スケーリング	歯肉縁上スケーリングの見学、相互実習、患者実習	エアスケーラー、超音波スケーラー、手用スケーラー(鎌形スケーラー)を選択し、歯肉縁上歯石除去の基本手技を理解し、実施する。	
スケーリング・ルートプレーニング	スケーリング・ルートプレーニングの見学、患者実習	適切なキュレットタイプスケーラーを選択し、スケーリング・ルートプレーニングの基本手技を理解し、実施する。	
プロフェッショナルメカニカルトゥースクリーニング(PMTC)	PMTCの見学、相互実習、患者実習	PMTCの必要性を理解し、目的に応じた道具の選択、および基本手技を実施する。	
歯周外科治療	歯周外科治療の見学、介助	各種歯周外科治療を見学し、施行した歯周外科治療の目的、術式、種類を理解する。	
咬合調整・暫間固定	咬合調整・暫間固定の見学、介助	咬合調整・暫間固定の必要性を理解し、適切な介助が行えるようにする。	
再評価検査	再評価検査の見学、患者実習	再評価検査の必要性、内容を理解し、実施する。また、その結果を適切に説明する。	
メンテナンス・サポーターティブペリオドンタルセラピー(SPT)	メンテナンス・SPTの見学、患者実習	メンテナンス・SPTの必要性、内容を理解し、実施する。	
<注意事項>			
<ol style="list-style-type: none"> 常に清潔を重んじた身だしなみに注意を払い、不適切と思われる髪型、化粧などはしてはならない。 病院内では、私語を慎み、機敏な行動を心がけ、時間厳守とする。 挨拶と返事は、はっきりとした声で行う。 常に患者には気を配り、親切で丁寧な対応をする。 分からないことは勝手に判断せずに、指導者に報告し、指示に従う。 実習時は必ず実習帳を持参し、必要な資料を忘れてはならない。 			

科目名		担当歯科医師	担当歯科衛生士
臨地実習 I 総合口腔診療部門（補綴分野）		霜野良介	笠原由香
学年	学期	単位	
第2学年	後期	—	
実習の目的(GIO)			
<p>・講義で学んだことと臨床とを関連づけ、補綴治療への理解を深める。また、高齢者の口腔健康管理と患者への対応法を身につける。</p> <p>・新患・再来新患への医療面接、口腔内診査の介助を行うことにより、歯、歯周、顎口腔領域の疾患に対する知識の習得と、患者対応を学ぶ。</p>			
評価方法	習得すべき全てのケース(見学・介助・実施)の終了、レポート提出、口頭試問にて理解度を評価する。実習に臨む態度、積極性も評価の対象とする。		
項目	実習内容	行動目標	
全部床義歯、部分床義歯、Cr・Brの製作過程	講義内容を参考にレポート提出、口頭試問を行う。	全部床・部分床義歯、Cr・Brの製作過程が説明できる。また、補綴物の種類、特徴および適応を説明できる。	
印象材、セメントの取り扱い	実技実習、説明を行いレポート提出、口頭試問を行う。	それぞれの印象材、セメントの特徴を理解し、適切に扱うことができる。	
高齢者への接し方	講義内容を参考にレポート提出	高齢者の身体的特徴や社会的立場を把握し、適切な対応ができる。	
義歯の取り扱い 補綴患者への刷掃指導	口頭試問、実技実習を行う。	補綴治療後の術後管理の目的と方法を説明できる。	
診療見学・介助	ケース項目の見学・介助を行う。	各処置の目的、術式と使用器具・器材を理解し、円滑な介助ができる。	
テンポラリークラウン作製	担当 Dr の指導の下、模型にてテンポラリークラウンを作製する。	指導手順によりテンポラリークラウンを作製することができる。	
余剰セメントの除去	Cr・Brの仮着後、余剰セメントの除去を行う。	適切な器具を使い、短時間で除去することができる。	
義歯着脱・義歯清掃	義歯着脱、義歯の清掃を行う。	正しい義歯着脱法、義歯清掃法を身につける。	
技工見学	技工作業の見学を行う。	診療室での処置と技工操作を結び付け、補綴治療の流れを理解する。	
初診対応	受付補助	健康調査票の説明と受け渡し 血圧測定器の説明と測定補助	健康調査票の内容を理解し患者に分かり易く説明する。 血圧と全身疾患のかかわりを理解する。
	器具取扱い	器具の準備・片づけ	清潔・不潔を理解し正しく準備と片づけを行う。
	患者誘導	チェアに患者を誘導する	適切な対応でスムーズな誘導を行う。
<p><注意事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 身だしなみは清潔にし、患者、スタッフに対しての挨拶等礼儀を大切にすること。 診療の見学、介助に入る際には必ず術者に一言断わること。 診療室では私語を慎むこと。 実習中に診療室外へ出るときはチーフ衛生士に許可を得て、戻ったときには報告すること。 見学ケース、介助ケースはいずれも期日内にレポートを提出し、口頭試問を受けること。 ケースの数にとらわれることなく、積極的に実習を行うこと。 初診患者は予約制ではないため混雑する場合がある。速やかに患者対応できるよう、歯科衛生士、担当医の指示に従い敏速に行動すること。 			

科目名		担当歯科医師	担当歯科衛生士
臨地実習 I 連携型口腔診療部門(口腔顎顔面外科分野)		中山洋子、森 こず恵 谷山貴一、小川さおり	矢島絵美
学年	学期	単位	
第2学年	後期	—	
実習の目的(GIO)			
口腔外科・歯科麻酔学の講義をもとに、外科手術の際に必要な知識について理解を深め、適切な介助技術を習得する。			
評価方法	口頭試問 ①臨床ケース ②主要外科処置・使用器材 (普通抜歯術、埋伏抜歯術、歯槽骨整形術、歯根端切除術、膿瘍切開排膿術) レポート ①外科器材 ②小手術 ③救急処置		
項目	実習内容	行動目標	
清潔・不潔の概念	清潔域・不潔域 消毒・滅菌 手指消毒法	清潔域と不潔域を理解できる。 消毒と滅菌の違いを理解できる。 適切な手指消毒ができる。	
主要外科処置 ・普通抜歯術 ・埋伏抜歯術 ・歯槽骨整形術 ・歯根端切除術 ・膿瘍切開排膿術	各処置の器材準備と介助および見学	処置の目的、適応症・禁忌症、術式を理解し適切な介助ができる。	
救急処置	血圧・脈拍測定法 心肺蘇生法 AED 使用法	バイタルサインの確認ができる。 一次救命処置ができる。	
精神鎮静法	精神鎮静下での外科的処置の介助	精神鎮静法の適応が理解できる。 鎮静下での外科的処置の介助ができる。	
病棟・手術見学	病棟見学 全身麻酔下手術見学	病棟での看護師の役割を理解できる。 全身麻酔の適応と手術法が理解できる。	

科目名		担当歯科医師
臨地実習 I		黒岩博子
連携型口腔診療部門(歯科放射線分野)		
学年	学期	単位
第2学年	後期	—
実習の目的(GIO)		
歯科衛生士に必要な各種画像検査法と正常解剖学について具体的に習得し、さらに放射線の安全な利用について理解する。		
評価方法	実習項目、臨床見学をすべて終了し、実習記録による評価とともに、試問において理解度を評価する。	
項目	実習内容	行動目標
1. 診療準備	<ul style="list-style-type: none"> ・診療室の清掃 ・歯科用 X 線撮影装置 (ヘッドレスト、照射スイッチ)の清拭 ・防護エプロンの清拭 ・撮影補助器具の滅菌 ・IP のリパック 	診療準備を実施できる。
2. 受付業務	<ul style="list-style-type: none"> ・患者さんへの応対 ・診察カード(または受付票)と 案内連絡票の受け取り ・検査依頼票兼照射録の印刷 ・患者さんの誘導 	受付業務を実施できる。
3. 口内法エックス線撮影	・ファントムを用いて、口内法 エックス線 撮影練習(二等分法)を行う。	口内法エックス線撮影法(二等分法)を習得する。
4. インスタント現像	・インスタント現像を行う。	インスタント現像を習得する。
5. 歯科用自動現像機	・歯科用自動現像機でフィルム現像を行 う。	現像の過程とフィルムの構造を理解する。
6. デジタル画像処理	・イメージングプレート(IP)をスキャナーで 読み取り、画像化する。	デジタルエックス線撮影システムの種類、原理、特徴を理解 する。
7. パノラマエックス線撮影	<ul style="list-style-type: none"> ・パノラマエックス線撮影を体験する。 ・パノラマエックス線写真をトレースする。 	パノラマエックス線撮影の特徴と適応、正常解剖学を習得す る。
8. 骨密度測定	・骨密度測定を体験する。	骨密度検査を理解する。
9. 超音波断層検査	・超音波断層検査を体験する。	超音波断層検査を理解する。
10. フィルムマウント	・14 枚法デンタルフィルムのマウント練習 を行う。	デンタルフィルムマウントを習得する。
11. 撮影見学	・放射線検査の実際を見学する。	撮影法、撮影補助技術について理解する。
12. 放射線防護	<ul style="list-style-type: none"> ・放射線の人体への影響、防護用具の 取り扱い、歯科エックス線検査における 患者と術者の放射線防護方法を実践す る。 	放射線の影響と健康について、理解を深め、放射線防護方 法を習得し、その重要性を認識する。
<注意事項> ・受付業務に際して、身だしなみには注意を払い、笑顔と思いやりをもって対応する。		

科目名		担当歯科医師	担当歯科衛生士
臨地実習 I		秋枝俊江	内田清美
連携型口腔診療部門(障がい者歯科分野)			
学年	学期	単位	
第2学年	後期	—	
実習の目的(GIO)			
スペシャルニーズのある患者の歯科診療に参加することにより、基本的知識および臨床技能を習得し、各障害に対する対応や口腔保健指導の知識を修得する。			
評価方法	1. 主要な障害について所定の症例数を見学、診療補助後、ケース表を提出し試問を受ける。 2. 歯科診療に参加し診療の器材準備及び術式に沿った診療補助が出来ているか評価する。		
項目	実習内容	行動目標	
スペシャルニーズのある患者との適切なコミュニケーション技能と倫理的態度	適切なコミュニケーション、スペシャルニーズのある患者への配慮、トランスファー、医療人としての倫理的態度	スペシャルニーズのある患者との適切なコミュニケーション技能と倫理的態度を習得する。	
行動調整の実際	行動変容技法(診療補助) 笑気吸入鎮静法(診療補助) 静脈内鎮静法(見学) 全身麻酔科集中歯科治療(見学) 身体抑制法(診療補助)	歯科診療に参加し、どのような行動調整法がなされているのか理解する。	
障害についての理解	知的障害(診療補助) ダウン症候群(診療補助) 自閉スペクトラム症(診療補助) 脳性麻痺(診療補助) 精神・神経疾患(診療補助) 循環器疾患(診療補助)	歯科診療に参加し、各障害の特性と対応、口腔内の特徴を理解する。	
口腔保健指導	ブラッシング指導(実施)	スペシャルニーズのある患者の口腔保健管理上の問題点を把握し、患者に適した口腔保健指導を患者あるいは保護者・介助者に実施する。	
感染症患者の実際	HBV、HCV、HIV 患者などの歯科的配慮点(見学)	各感染症を理解し、感染防止対策の方法、消毒・滅菌について理解する。	
摂食・嚥下	診査、検査、評価、訓練など一連の流れ(見学)	摂食・嚥下リハビリテーションの臨床を学ぶ。	
<注意事項> ・患者のプライバシー保護には十分注意する。 ・臨床実習生の立場をわきまえ、身だしなみ、言動、行動などに気をつける。			

科目名		担当歯科医師	担当歯科衛生士
臨地実習 I		川原良美	原あい
育成期口腔診療部門(矯正歯科分野)			
学年	学期	単位	
第2学年	後期	—	
実習の目的(GIO)			
歯科矯正学の講義にて習得した知識をもとに実習を行い、不正咬合に対する治療の必要性、矯正患者における保健指導、各種矯正装置や器材・器具について総合的に理解する。			
評価方法	各種実習項目について習得すべき全てのケースの終了、レポート提出、口頭試問により、知識・技能・実習態度を総合的に評価する。		
項目	実習内容	行動目標	
資料採得	印象練和 口腔内写真撮影	口腔内写真撮影の介助ができる。	
介助実習	セメント練和・盛り付け アルジネート練和 ダイレクトボンディング法 器材の受け渡し	目的に応じた適切な稠度で練和できる。 治療の流れや手順を理解し、適切且つ迅速な介助ができる。	
保健指導	口腔衛生指導(TBI) 口腔筋機能療法(MFT)	矯正患者における口腔衛生指導について理解し、実施することができる。	
器材・器具	口頭試問	矯正治療に使用する器具・器材の名称と用途を理解し説明できる。	
各種矯正装置	ケース取得後の記録および口頭試問	各種矯正装置について、名称・用途・使用方法等を理解し説明することができる。	
相互実習	口腔内写真撮影	口腔内写真撮影の術者と介助者の実施ができる。	
歯列模型実習	アーチワイヤー結紮実習	歯列模型を用いたマルチブラケット装置のアーチワイヤーとエラスティックの着脱、結紮ができる。	
習熟度評価	口頭試問習熟度評価	矯正治療について総合的に理解し説明することができる。	
<p><注意事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病院内においては、私語や大きな声を慎み、術者や介助者の妨げとならないように機敏な行動を心掛ける。 2. 常に気配りを心掛け患者に対応する。 3. 器具・器材には精密で高価なものが多いため、無駄な使用や勝手な破棄は控える。 			

科目名		担当歯科医師	担当歯科衛生士
臨地実習 I		森山敬太	三澤美幸
育成期口腔診療部門(小児歯科分野)			
学年	学期	単位	
第2学年	後期	—	
実習の目的(GIO)			
小児歯科臨床実習は、今までに習得した知識を基に、診療補助として必要な小児の成長発育を考慮した予防指導や予防処置、治療ならびに口腔健康管理についての技術を習得する。 また、患児や保護者とのコミュニケーション、患児の対応法について知識、技術、態度を習得する。			
評価方法	臨床講義、見学、相互実習、アシスタントケース、実施ケース、口頭試問および試験ケースにより、知識・技能・態度を総合的に評価する。		
項目	実習内容	行動目標	
1. 臨床講義 ※臨地実習 オリエンテーション	1. 小児の対応法 2. フォーハンドデンティストリー 3. 咬合誘導 4. 予防処置 5. 刷掃指導 6. 食事指導	<ul style="list-style-type: none"> ・インフォームドコンセント、一般的な対応法、行動変容による対応法、特殊な対応法を理解する。 ・フォーハンドデンティストリーの目的と方法を理解する。 ・咬合誘導の目的、装置の種類、適応を理解する。 ・フッ化物塗布法と予防填塞法の目的、術式、術後指導を理解する。 ・乳歯う蝕の原因、特徴および予防法を理解する。 ・小児の歯肉炎の種類と特徴を理解する。 ・食生活とう蝕の関連、間食の意義を理解する。 	
2. 臨床見学	1. 定期健診 2. 小児の対応法 3. レジン修復(光重合) 4. 乳歯既製金属冠 5. 歯髄処置 6. 外科処置 7. 咬合誘導 8. 刷掃指導 9. 食事指導 10. フッ化物塗布	<ul style="list-style-type: none"> ・診査の項目、方法、記録について理解する。 ・小児の対応法(主に声掛け)を理解する。 ・治療内容を把握する。 ・治療の術式や使用器材を理解する。 ・フォーハンドテクニックを理解する。 ・器材準備および片付け方法を理解する。 ・術後指導の内容および方法を理解する。 ・患児や保護者とのコミュニケーションの必要性、方法を理解する。 ・指導の流れを把握する。 	
3. 介助ケース	1. 定期健診 2. 小児の対応法 3. レジン修復(光重合) 4. 乳歯既製金属冠 5. 歯髄処置 6. 外科的処置	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔内診査結果の記録を行う。 ・TSD法に準じた声掛けを行う。 ・器材準備、点検、片付けを行う。 ・カートリッジ注射器の取り扱いを理解する。 ・フォーハンドデンティストリーによる介助を実施する。 ・治療の流れに沿った器具の受け渡しを行う。 	
4. 実施ケース	1. 定期健診 2. 刷掃指導 3. 食事指導 4. フッ化物塗布	<ul style="list-style-type: none"> ・診査項目に従って口腔内診査を行う。 ・清掃状態と歯肉の健康状態を観察し把握する。 ・咬合状態の観察をする。 ・小児、保護者に対するブラッシング指導を実施する。 ・適切な清掃用具の選択および指導を実施する。 ・幼若永久歯(第一大臼歯を中心)のプラークコントロールの方法を指導する。 ・フッ化物の取り扱いを理解し、指示に従って塗布を行う。 ・注意事項の説明をする。 ・歯科保健指導記録を記載する。 	

5. 試験ケース	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期健診 2. 小児の対応法 3. レジン修復(光重合) 4. 乳歯既製金属冠 5. 歯髄処置 6. 外科処置 7. 咬合誘導 8. 刷掃指導 9. 食事指導 10. フッ化物塗布 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳歯と永久歯の違いを理解する。 ・TSD法に準じ、術者と協調した声掛けを行う。 ・安全の確保を行う。 ・適切に器材準備、点検、片付けを行う。 ・適切かつ安全にカートリッジ注射器の取り扱いをする。 ・適切なフォーハンドデンティストリーによる介助を実施する。 ・治療の流れに沿った適切な器具の受け渡しをする。 ・指示に従った指導を実施する。 ・適切に指導記録を記載する。 ・適切な歯面清掃を実施する。 ・指示に従い適切なフッ化物の取り扱いの下に塗布する。 ・適切な術後指導を行う。
6. 相互実習	<ol style="list-style-type: none"> 1. フッ化物塗布 2. 予防填塞 3. う蝕活動性試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・術者磨きを実施し、仕上げ磨きの指導に生かす。 ・ラバーダム防湿を実施する。 ・術式および処置の流れを確認しながら実施する。 ・CAT21 Fast、CAT21 バフの検査の目的・使用法を理解する。
7. 口頭試問	<ol style="list-style-type: none"> 1. 定期健診 2. 小児の対応法 3. レジン修復(光重合) 4. 乳歯既製金属冠 5. 歯髄処置 6. 外科処置 7. 咬合誘導 8. 刷掃指導 9. 食事指導 10. フッ化物塗布 11. 予防填塞 	<p>[診療補助]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試験ケース症例で出題されるレポート課題に関する口頭試問を受け、合格する。 <p>[保健指導・予防処置]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登院前に課題を記入する。 ・登院後口頭試問を受け、合格したら実施ケースおよび試験ケースを行う。

科目名		担当歯科医師	担当歯科衛生士
臨地実習 I 保育園フッ化物塗布実習（あさひ保育園）		森山敬太	松本歯科大学病院 歯科衛生士 衛生学院教員
学年	学期	単位	
第2学年	後期	—	
実習の目的 (GIO)			
低年齢児に対するフッ化物応用の目的を理解し、適切にコミュニケーションを取りながら安全に配慮したフッ化物塗布を実施する。			
評価方法	事前レポート・実習記録の提出状況およびその内容、出席状況と実習態度から総合的に評価する。		
項目	実習内容	行動目標	
1. 事前学習・実習	1. レポートの作成 ・保育園児への対応およびブラッシング指導法 ・フッ化物の効果 ・フッ化物塗布の術式・注意事項 ・術後指導 2. 相互実習	・保育園児に対する一般的対応法とブラッシング指導法を説明できる。 ・フッ化物応用の効果を説明できる。 ・フッ化物塗布の術式と処置時の注意事項を説明できる。 ・歯ブラシ法によるフッ化物塗布ができる。 ・塗布後の注意事項を説明できる。	
2. フッ化物塗布実習	1. 準備 2. 誘導 3. 歯面清掃・フッ化物塗布 4. 術後指導 5. 片付け	・使用時の状況を考えて器材準備ができる。 ・保育園児の年齢に適した対応ができる。 ・安全にフッ化物塗布ができる。 ・塗布後の注意事項を分かりやすく説明できる。 ・使用器材の汚染状態に配慮した片付けができる。	
3. 実習記録	実習記録の作成	・実習の目標を立てることができる。 ・実習内容を振り返り課題を明確にできる。 ・課題の解決策を考察できる。	
<注意事項> ・名簿で氏名と年齢を確認した上で、安全かつ迅速にフッ化物塗布を実施する。 ・窒息や誤嚥が起こらないよう頭部の角度や身体の状態にも注意する。 ・周囲の状況にも目を配り、待機中の園児に危険が無いようにする。			

科目名		担当歯科医師	担当歯科衛生士
臨地実習 I 重度心身障害者巡回臨地実習		松本歯科大学病院 歯科医師	松本歯科大学病院 歯科衛生士 衛生学院教員
学年	学期	単位	
第2学年	後期	—	
実習の目的 (GIO)			
障害者歯科学の講義を基に、障害者への対応を学び、障害を考慮した歯科検診の介助と口腔清掃指導法を習得する。			
評価方法	実習記録の提出状況およびその内容、出席状況と実習態度から総合的に評価する。		
項目	実習内容	行動目標	
1. オリエンテーション	実習の目的 実習内容 チャートの記入方法注意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の目的・内容を述べることができる。 2. 口腔内診査用紙の項目について理解し、記録できる。 3. 実習の注意事項を述べることができる。 	
2. 実習の流れ	診査の準備 口腔内診査時のチャーティング 応急処置時の器材準備・介助 ブラッシング指導 ブラッシングプログラム記入 後片付け 施設見学 反省会	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の目標を立てることができる。 2. 歯科検診に必要な器具・器材を準備できる。 3. 清潔・不潔に留意して検診の介助ができる。 4. 障害に応じた対応ができる。 5. 口腔内診査結果を正しく記入できる。 6. 応急処置時の介助ができる。 7. 障害者の口腔内状態・ブラッシング状況を把握することができる。 8. 障害を考慮した指導法を選択することができる。 9. ブラッシングプログラムを正しく記入できる。 10. 口腔ケアにおいて、施設職員と連携する重要性が理解できる。 11. 実習の内容を振り返り、課題を挙げるができる。 	
<p><注意事項></p> <p>・疑問点等は担当歯科医師・担当歯科衛生士・教員に尋ねること。</p>			

科目名		塩尻市保健福祉センター 担当者	
臨地実習 I 1歳6か月児健康診査実習		永原敏美 保健師	中島公子 歯科衛生士
学年	学期	単位	
第2学年	後期	—	
実習の目的 (GIO)			
1歳6か月児健康診査の意義を理解し、関連職種の連携および対象児・保護者への対応を学ぶ。			
評価方法	事前レポート・実習記録の提出状況およびその内容、出席状況、実習態度から総合的に評価する。		
項目	実習内容	行動目標	
1. 実習の流れ	集合～実習準備 健診見学 実習記録作成 カンファレンス	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習の目標を立てることができる。 2. 健診手順を説明できる。 3. 保健師および歯科衛生士による集団指導の主旨を把握できる。 4. 集団指導での媒体の活用法を説明できる。 5. 保健師および歯科衛生士の受診児と保護者への対応について述べるができる。 	
2. 健診の流れ	受付 お話: 保健師・歯科衛生士 問診・発達チェック 歯科診察 計測 内科診察 相談 終了	<ol style="list-style-type: none"> 6. 歯科健診の記録方法を説明できる。 7. 1巡したあとの見学方法を定めることができる。 8. 受診児の年齢に応じた対応ができる。 9. 保護者への配慮ができる。 10. 疑問点等を質問できる。 11. 実習内容を振り返り課題を挙げるができる。 	
<注意事項> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保護者に了解をとり、受診児とその保護者に同行し健診の流れを体験する。 2. 快く承諾してくださった保護者の方に失礼のないように接する。 3. 質問は健診終了後の保健師および歯科衛生士とのカンファレンスの際に遠慮なく尋ねること。 4. 実習には、目的を持って臨むこと。 			